

学報

No. 116

平成23年5月10日発行

上越教育大学

(掲載期間：平成23年3月1日～平成23年4月30日)

目

- ◇平成22年度上越教育大学学位記授与式……………1
 - 学長告辞
- ◇平成22年度上越教育大学卒業証書・学位記授与式……………3
 - 学長告辞
- ◇平成23年度上越教育大学大学院入学式……………5
 - 学長告辞
- ◇平成23年度上越教育大学入学式……………7
 - 学長告辞
- ◇学事……………10
 - 大学院入試（後期募集）
 - 学部一般入試（後期日程）
 - 兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科の学位記授与式
 - 兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科の入学式
 - 学生表彰式
 - 平成22年度課外活動団体リーダーズ・トレーニング研修
 - 平成22年度「海外教育（特別）研究A」
 - 平成23年度新入生オリエンテーション
 - 平成23年度新入生図書館利用ガイダンス
 - 情報セキュリティ講演会

次

- 新入生ノートパソコン準備講習会
- 平成23年度新入生（合宿）研修
- 平成23年度文献の探し方ガイダンス
- ◇人事……………15
 - 役員等紹介
 - 人事異動
 - 学内委員会等委員
- ◇一般通報事項……………51
 - 役員会
 - 経営協議会
 - 教育研究評議会
 - 教授会
 - 学位記
 - 平成22年度研究プロジェクト成果発表会
 - 2010年度上越教育大学国際交流のつどい
 - ファカルティ・ディベロップメント講演会
 - 東日本大震災避難児童生徒の学習支援等
 - 退職者永年勤続表彰状授与式
 - 公開講座・免許法認定公開講座
 - 海外渡航
- ◇関係資料……………67
- ◇主要日誌……………70

平成 22 年度上越教育大学学位記授与式

平成 22 年度の学位記授与式が 3 月 18 日（金）午前 9 時 30 分から本学講堂で挙行された。

開式に先立って、東北地方太平洋沖地震におきまして、お亡くなりになられた方々を追悼し、被災地の一日も早い復興を祈念し、黙祷が行われた。

式典では、次第を一部変更し、学位記授与、学長告辞、修了生代表答辞、来賓紹介と進行し、学生歌をもって閉会となった。

学長告辞は次のとおりである。

学 長 告 辞

学長 若 井 彌 一

本日、告辞の本文に入る前に、改めて、この度の巨大地震と津波によって亡くなられた方々に、哀悼の気持ちを表したいと思います。また、被災された多くの方々にこの場を借りて、お見舞いを申し上げるものでございます。

さて、大学院修士課程あるいは専門職学位課程で、恐らくこれまでの人生の中で、最も濃縮された研鑽の日々を送って、本日、ここに学位記授与を認められた皆さん！ご苦勞をねぎらい、心から祝意を表するものです。本日を一つのステップとして、また新たな活躍の道のりのスタートを切ろうとしている皆さんに、三つのことを期待して饒の言葉としたいと思います。

第一に、多くの方々が教育の現場～小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、幼稚園等で教員としての道を探求していくことになろうかと思ひます。その際に、大学院での学びを振り返ってみると共に、「もし、活用できるのであれば、どの学びをどのように活用できるのか？」と自分に問いかけることを実行してください。それが、真の「学びの振り返り」であろうかと思ひます。

皆さんが大学院で学んだ、否、探究（研究）したことの真価を発揮するのは、そのような「学びの振り返り」という繰り返しの通してであります。

第二に、日常的に求められる「実践的課題への対応」だけで毎日が終わるのではなく、是非、自らを更に高め、深めてみようとする「教養的課題」への挑戦を忘れないように実行したいということです。

小・中学校に勤務した場合、多くの人々は教頭、校長等の管理職になっていきますが、管理職になるかならないかに関係なく、やはり、「信頼される専門職」となるには、「豊かな教養」が必要だということを自覚したいものです。「温故知新」（論語「為政」篇）という名言があります。教育に関する歴史的評価の高い著作物から学ぶというのも、効果的な方法の一つと言えます。本学の売店でも販売している『名著解題』（協同出版）というハンディな本が刊行されております。既に、読んだ人もいるかと思ひますが、是非、機会をみて読書を楽しんでみてください。読書の対象は、『名著解題』で取り上げられているような歴史的評価の高い古典に限りません。楽しんで身につけたことが、他の人々に対して、大いに参考になることがあります。「教養人」というのは、どの分野にあっても、そのような役割を果たすことのできる存在なのです。

第三に、人としての品格を高め、「高潔な人格」の持ち主となる努力を怠らないようにしたいということです。とは言うものの、「人格の完成」という課題は、際限のない青天井の努力目標でありますか

ら、上を見上げてばかりでは、くたびれてしまいます。

そこで、「逆の発想」をしてみたいと思います。最低限注意すべきことは何かという発想です。「教育」を職務としている人達が、最も問題視され易いのは、どんなことでしょうか。「職業としての教育」、つまり「教職」の歴史は、まだ、そんなに長くはないのですが、教職がこれからも社会的信頼を有する職業として発展し続ける上で、最も基本的な条件は、「学習を必要とする一人ひとりの子ども達に、それぞれの発達段階や発達特性に応じて、適時性のある内容と方法と教育的愛情をもって、満足感や充足感に満ちた指導をしてやれるかどうか？」であると考えられます。

そして最も基本的要件は、実は、「教育的愛情」なのです。その前提の上に、教科等の指導内容や指導の方法についても、最低限の知識・技術は不可欠であり、その向上が課題とされています。

「うわあ、大変だ！」と恐れる必要はありません。日々の地道な努力があれば大丈夫です。強調しておきたいことは、理解の遅い子ども、忘れてしまい学習の蓄積が困難な子ども、動作が鈍い子ども、落ち着きがなく集中が出来ない子どもなどに対して、「やっかいな存在」と思わずに、どの子どもたちにも「この先生がいるからぼく（私）は明日も頑張れる！」という存在であるように心掛けるということでもあります。

この基本的精神を忘れてしまうと、教職のどこかの段階で、「えこひいきをする先生」との批難を受けて進退を迫られる深刻な問題に直面することになりかねません。

新たな門出に、もっと楽しいきうきするような内容の式辞を、とも考えておりました。しかし、皆さんに対するこれからの国民世論や保護者等の要求内容・水準の大きさと高さを考慮して、敢えて重い内容のものを考えた次第であります。

「尊敬されること」と「要求される期待の水準の厳しさ」は表裏一体であるとの自覚を忘れずに、もて映やされても驕ることなく、一步一步堅実に「専門職としての教職」の道、あるいは坂を歩んでいってくださることを期待しております。皆さんの前途に幸多かれと心から願って、私の式辞を締め括ることにいたします。

おだてられても 見下されても 驕り腐らず プロの道



平成 22 年度上越教育大学卒業証書・学位記授与式

平成 22 年度の卒業証書・学位記授与式が 3 月 18 日(金)午前 11 時 20 分から本学講堂で挙行された。開式に先立って、東北地方太平洋沖地震におきまして、お亡くなりになられた方々を追悼し、被災地の一日も早い復興を祈念し、黙祷が行われた。

式典では、次第を一部変更し、卒業証書・学位記授与、学長告辞、卒業生代表答辞、来賓紹介と進行し、学生歌をもって閉会となった。

学長告辞は次のとおりである。

学 長 告 辞

学長 若 井 彌 一

本日、卒業を認められた 166 名の皆さんに告辞を述べるに先立って、去る 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震とそれに連動して発生した巨大津波により亡くなられた方々に対して心からお悔やみを、また、被災を受けて経済的あるいは精神的・身体的痛手を負った方々にお見舞いを申し上げます。

それにしても、幾分主観的な表現をするならば、何という「負の連鎖」でありましょうか。いわゆる「バブル経済」に舞った感のある短期間の「平成の夢」破れた頃から早くも二十年の歳月が経過しております。この間、経済政策として打つ手なし、との印象を強く抱かざるを得ないような国の財政危機の深刻化が進んで現在に至っております。

経済的低迷を背景とする財政改革と前後する形で「教育改革」も臨時教育審議会(昭和 59 年 8 月～62 年 8 月)による四次の改革提言以降、休むことなく歴代内閣によって、次々と提言され、具体化の努力が行われてきたところであります。しかし、経済政策が「失われた十年」という自虐的あるいは自嘲的評価をされた程ではないにしても、教育改革もまた、「成果の実感乏しき二十年」という、充実感よりもむしろ徒労感の大きな二十年であったようにも思われます。

それは、次から次へと、教育の成果を総合的に検証・検討する間もなく、また、新たな装いをもった改革政策が打ち出されては、更に次の政策へと移るといふ、「改革成果の急ぎ過ぎ」の疲労蓄積現象と言えるのかもしれない。

そこで、学部の教育を通して、恐らく相当に鍛えられてきたと思われる皆さんですが、本日をもって新たな旅立ちをするに当たり、敢えて期待というよりもお願いしておきたいことがあります。何かというと、「改革」という二文字に表面的に舞らされたり、反対に感情的に反発する「反改革」にとどまる教師ではなく、「改革」に盛り込まれた教育観、教育方法論は何であるかを熟慮あるいは思索し、自分の授業実践に生かしていくことができる思慮深い説明力豊かな教師になることを心掛けてほしいということです。

「思慮深い説明力豊かな教師」と言っても、具体的にイメージしにくいかもしれません。例えば、授業中に「〇〇は、僕嫌いです。なぜ〇〇を勉強しなければならないのですか？」という質問をしてきたら、なんと答えてやりますか。

「ふざけるな、廊下に出て立っている！」などというのが思慮深いとも、説明力豊かとも言えないことは分かりきっていますね。そうかと言って、「嫌いなものはやる必要はありません。人の迷惑にならぬように自分の好きなことをやっつけていなさい。」というのも適切な指導とは言えません。

「これは、学習指導要領で指導（学習）することを定めています。あなたの好き嫌いに関係ありません。」という説明でもやはり通りません。このように一見簡単そうに思われる事柄であっても、児童・生徒が、納得いくように答えてやるのは、具体的な例を、その児童・生徒が興味をもてるように説明してやれるだけの内容の深まりがなければ無理なのです。通り一遍の杓子定規な説明では足りないのです。

このことは、対児童・生徒に対する指導に関してだけでなく、教師間での研修や協議の際にもあてはまります。結局は、思慮深く、説明力豊かな教師が、仲間の中で信頼を得ていくことになるでしょう。保護者に対しても同様です。

一朝一夕に、また、短期間につく力でもなく、長い継続的な努力を通して、初めて身につく総合的な力、それが「教師としての専門的な力」（教師力）であろうかと思えます。「プロ（専門職）の道」は、もっと正確に言えば、「実力を備えたプロとなる道程（道のり）」は、平坦ではありません。起伏に富んだマラソンコースのようなものだと言えるでしょう。だから、焦らずに、一步一步堅実な前進を心がけたいものです。

誤解のないように断っておきます。決して教育のプロという教職だけが殊更に厳しい要求を突きつけられている訳ではありません。社会的に尊敬の対象とされる職は、「プロフェッション」であろうと「プロフェッショナル」であろうと、どの職であれ、厳しい職務遂行能力が求められます。高い（強い）尊敬や信頼と厳しい要求水準は、表裏を成しているのです。

それでは、締めくくりと致します。皆さんの門出を祝し、ご多幸とご活躍をお祈りして、二つの歌を贈りたいと思います。

子どもの夢を 鍛えて開く 教師の鍵は 知義理愛

波乱苦難に 負けずに熱く 未来を語れ 子どもらと



平成 23 年度上越教育大学大学院入学式

平成 23 年度の大学院入学式が 4 月 6 日（水）午前 9 時 30 分から本学講堂で挙行された。

開式に先立って、東日本大震災により、お亡くなりになられた方々を追悼し、被災地の一日も早い復興を祈念し、黙祷が行われた。

式典は、学園歌演奏、学長告辞、入学生代表宣誓、来賓祝辞と進行し、学生歌をもって閉会となった。学長告辞は次のとおりである。

学 長 告 辞

学長 若 井 彌 一

ただ今、大学院入学を認められた、307名（修士課程256名、専門職学位課程51名）の皆さん、心から御入学を歓迎致します。入学式を始める前に、去る3月11日に発生した「東日本大震災」（4月1日、持ち回り閣議で名称統一を了解）で亡くなられた1万2344人（4月5日現在、警察庁調べ）を超える実に夥しい数の方々への哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りして、黙祷を致しました。ご協力ありがとうございました。

政治と経済の激動に加えて、激甚災害が発生して、被災の規模が桁外れに大きかったことから、予定していた入学式を中止した大学や延期した大学が130を超えております。本学でもかなりの揺れはあったものの、施設・設備の損害もごく軽微でありましたことから、その後入学予定者の皆さんの被災状況について、可能な限り確認を取り、また、在学生の安否についても可能な限りの確認をした上で、予定通り、実施することに致しました。このような経緯を辿っての本日の入学式の挙行でありますので、我々大学関係者は強い決意を持って、本日皆さんを迎え入れたわけであります。

さて、皆さんは既に本学の概要について、入学案内等の文書を読んで理解している人が多いのではないかと思われます。本学は、全国の教員養成系あるいは教育系大学の中でも、学部のみならず、大学院修士課程と専門職学位課程、さらには、連合大学院博士課程を有する少数の拠点的役割を担ってきている大学の一つであります。昭和53年10月1日に、当時の国立学校設置法の一部改正により設置された、いわゆる「新構想」の教育大学であり、入学定員も、学部が160名（平成12年度以降の入学定員）、であるのに対し、大学院の入学定員が修士課程250名、専門職学位課程50名、合計300名であり、大学院の入学定員が学部よりも大きいという我が国では珍しい大学の一つであります。

大学院修士課程の入学生受け入れは、昭和58年度から開始され、また、専門職学位課程（通称「教職大学院」）は、平成20年度から入学生受け入れを行っております。

大学院の目的は、学校教育法で「大学は、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の進展に寄与すること」であると定められております（第99条第1項）。

このような大学院の目的は、その達成水準が極めて高度なものとしてイメージ（想定）されております。大学の目的（第83条第1項）については、「学術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させること」を目的とするとされているのと比べてみると、大学院の場合、条文の表現内容が、その水準の高さを強く意識したものになっているところが、「大学院の目的」規定の特徴であることに気がつくはずであります。

大学院のうちでも「専門職大学院」については、「学術の理論及び応用を教授研究し、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培うことを目的とするもの」（第99条第2項）というように、その重点的な特化された制度的使命（取り組み課題）を強調した条文の表現となっております。

修士課程であろうと、または、専門職学位課程であろうと、皆さんのこれから2年間あるいは3年間は、恐らく、これまでに経験したことのない、精神的充実感と緊張感に満ちた日々になることであろうと思われま

「躍動感に溢れた日々」という表現も可能ですが、常に平坦なコースを等速で走るというイメージよりも、登り下りの起伏に富んだマラソンコースを走るというイメージがぴったりしているかもしれません。

しかし、必要以上に過敏になって、不安を募らせる必要はありません。同じく自らを鍛えようとする決意と勇気を秘めた高い志を持っている人々(若者)が全国各地からここ上越教育大学大学院に集まっているのです。また、皆さんの先輩院生も多数在学して頑張っており、皆さんからの質問には、親身になって応えてくれるでしょう。また、必要な励ましや支援もしてくれることと思います。

志を共にする人々とのつながりは、皆さんの2年間または3年間の大学院生活を送る上で重要であると同時に、それ以上に、今後、生涯を通じて、皆さんが支え合って活躍していく上での励みとなり、支えとなってくれる可能性が高いと思われます。その意味で、皆さんが大学院生活を通じて、どのような人々と親交を深めていくかは、今後の人生にとって極めて大きな意味を持つものと予想されるのであります。

教員(教授陣)とのつながりも同様です。大学院の場合、学部生時代とは違って指導に当たる先生方とのつながりは、より密接なものとなります。ただし、それは、皆さんが謙虚に「学ぶ」あるいは「研究する」という姿勢をもっていないと実現しません。皆さんの主体的、自発的な働きかけがなければ、親密な師弟関係は形成されません。現職教員の人々は、「教師」という肩書きを忘れて、学習者として割り切った態度で学びを広げ、深めていって欲しいと願うものであります。

最後に、国の教育政策、より端的に言えば、文部科学省や文部科学大臣(文部科学省設置法第2条第1項、第2項)、およびその諮問機関である中央教育審議会(文部科学省組織令第85条)によって実施されたり、提示されたりしている教員養成に関する改革方針や構想の方向と皆さんが大学院で学ぶこととの関わりについてポイントを述べ、今後の大学院での研鑽の参考に供したいと思えます。

平成22年6月3日、川端達夫文部科学大臣は、「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について」と題する諮問を中央教育審議会に対して行いました。現在、中教審では、この諮問を受けて内容を検討中であります。この中教審による答申がどのような内容のものとなるかについては、大学関係者も、現場の教職員もさらには教育に関心を寄せる国民の多くも、強い関心をもって見守っているところであります。

文部科学大臣の諮問文では、「教員養成・採用・研修の各段階について改めて点検し、見直すこと」が必要であること、「その際、特に重視すべきは、学校教育における諸課題の複雑・多様化に対応して教員に求められる専門性を今一度見直し、養成段階を含めた教職生活の全体を通じて不断に資質能力の向上が図られていくようにするため、教員免許制度と教員養成・採用・研修の各段階を通じた一体的・総合的な取り組みが行われるようにすることです。」と強調しております。

本学は、学部の充実した教育は勿論のことですが、加えて大学院に重点を置いた教育・研究を一体的に推進することを任務として、昭和53年に設置され、昭和58年度から大学院入学生を受け入れて以来、およそ30年近くに及んで、「大学院レベル」での教員研修の充実に努めてきたところであります。これまでの努力と成果を踏まえて、我が国の「大学院における教員養成」の在り方についても、具体性のある有益な知見を提供できるものであると認識しております。

皆さんの先輩に当たる多くの大学院生と本学の指導スタッフが地道に築いてきた重厚な実績の上に、また、超大規模災害の発生という波乱に富んだこの年に、新入生として本学に入学してきた皆さんが、逞しい「開拓者」の精神をもって、研鑽に励み、この国の教員養成の質的向上と我が国の学校教育の更なる発展に貢献して下さることを切に願うものであります。教育政策に振り回されるのではなく、政策をリードする(先導する)ことができる「大学院における教員養成」の実例を提示できるのが、本学の目標であり、使命であります。このことを自覚して、入学生の皆さん一人ひとりが健康の維持と体力の向上に留意しながら、一日一日を大切に「我、日に三度我が身を省みる」という『論語』の有名な教えを忘れることなく、研究と修養に励んで大学院生としての実力をつけて下さることを願い、私の告辞の締め括りと致します。

平成 23 年度上越教育大学入学式

平成 23 年度の学部入学式が 4 月 6 日（水）午後 0 時 30 分から本学講堂で挙行された。

開式に先立って、東日本大震災により、お亡くなりになられた方々を追悼し、被災地の一日も早い復興を祈念し、黙祷が行われた。

式典は、学園歌演奏、学長告辞、入学生代表宣誓、来賓祝辞と進行し、学生歌をもって閉会となった。学長告辞は次のとおりである。

学 長 告 辞

学長 若 井 彌 一

異例のことではありますが、入学式に先立って、去る 3 月 11 日に発生した東日本大震災により、亡くなられた 1 万 2 3 4 4 人（4 月 5 日現在、警察庁調べ）もの方々への哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りして黙祷を行いました。ご協力ありがとうございました。

テレビ、新聞による報道を通して、大震災による被災死亡者の数がまだ日増しに増えている状況にあります。そして、行方（安否）不明の方々が 1 万 7 8 8 1 名もの多くの数であります。このような未曾有の大災害でありましたので、その影響を受けて、予定していた入学式を中止したり、延期したりした大学も 1 3 2 大学（4 月 1 日現在）を数えております。

本学でも相当強い揺れでありましたが、施設・設備の損害は、ごく軽微であり、翌日の後期日程試験も実施できました。ただし、実施時刻について受験生への配慮の観点から弾力性を持たせるなどの試みを行いました。また、17 日には、被害事情の確認が取れた受験生への配慮から追試験を実施し、一人でも多くの受験生に対して受験の機会を得られるように努めました。

その後も、受験合格者の安全確認に努めまして、本日の入学式挙行に至りました。ただ今入学を許可された 1 6 9 名の皆さん、皆さんの入試準備の努力が実って、また無事に本学の入学式に臨むことができたことを心から祝福し、歓迎するものであります。

全国各地から付き添って来られた保護者等の皆さまには、果たして、我が子が受験合格し、入学する大学は、安全なのだろうかと不安があったかと思われそうですが、大丈夫であります。施設・設備の安全確認も行っておりますので、どうぞ、ご安心下さい。宿舎も心配ありません。また、大学周辺の民営の下宿・アパート等についても、心配するような被災状況は確認されておりませんので、ご安心ください。

さて、いかに大きな希望や抱負を持っていても、それは健康と安全という二つの要件によって支えられていることなしには実現できません。今回のような想像を絶する規模の自然災害が発生すると、その直後は、無力感や無常感が強くなってしまい易く、すべては「運」の善し・悪しで決まってしまうと、日常的努力を積むことが空しいことのように思われがちなのですが、徒に悲観的になることなく、気丈に生きるように皆で心掛け、励まし合いたいものです。

振り返ってみれば、66 年前の昭和 20 年 8 月、我が国は、戦争によって東京はじめ主要都市は焼土と化し、しかも広島と長崎には原爆が投下され、死の灰に怯えざるを得ませんでした。極端な食糧不足、生活物資不足に見舞われながらも、昭和 22 年 4 月、「民主的で文化的な国家の建設」という高い理想を掲げて戦後の学校教育の復興に向けて、歩き出したのであります。それからの復活ぶりには目覚ましいものがありました。

今回の大災害も決して 1～2 ヶ月で完全復興というほど、簡単な取り組み予想ではありませんが、かと言って、何十年もかかる程に見通しは暗くありません。希望をもって、皆さんは大学生としての本文、即ち勉学に励み、知的能力、道徳的能力、応用的能力の向上に努めて下さい。そのひたむきな努力は決して無駄にならず

に、十分に報われると確信しております。

「教育」という営みは教育基本法第1条でも謳われておりますように、「人格の完成」を目指しております。人間として、より具体的に言えば、世界の諸国民と協動的に生存を確保していくことのできる日本国民としての総合的な資質能力を身につけていくことを期待して行われているのです。

現代国家においては、我が国だけでなく、学校教育が高等教育にまで及んで制度化されており、先進諸国では、高等教育段階まで進学している若者の割合が、該当年齢人口の50%前後にまで拡大してきております。

学校教育の整備が進んだことによって、学校教員に要求される力（総合的意味で「教師力」と呼んだりしている）も高度化してきています。「大学院レベルでの教員養成」が今後、教員養成の制度改革論議では、本格化すると予想されます。

このような「教員養成の高度化」の動きの中にあつて、本学では、教員養成系または教育系の拠点校として、これまでの取り組みの実績を踏まえつつ、さらに充実した教員養成の実現を目指して「上教大スタンダード」を拠り所とする取り組みを試験的に進めているところであります。

皆さんが入学してきた本学は、このような教員養成系または教育系の拠点大学の1つであります。昭和53年10月1日に設置された本学であります。通称「新構想」の教育大学と呼ばれてきました。何が新構想であるか。その意味するところは、学部における教員養成の教育内容が、当時の教員養成系大学の中では、刮目（強く注目）されるほど、「実践的」指導力の育成に配慮したものであったことでもあります。また、学部の入学定員（200名）に対して大学院入学定員が300名であり、その3分の2は、現職の小・中・高等学校や盲・聾・養護学校（現在の特別支援学校）等に勤務経験がある人々を入学生として受け入れ、現職教員のリーダー的存在として活躍できる人材を養成するための研修（研究と修養）の機会を提供することを目指していたということでもあります。

なお、付け加えておきたいのは、平成8年度より「新構想三教育大学」、即ち、兵庫教育大学、鳴門教育大学、上越教育大学に岡山大学が加わった四大学連合による大学院博士課程研究科が設置されており、これら4大学のうち、指導を希望する教員が所属している大学において学んで博士号を取得し、その後、大学等の教員になる道も開けています。意欲のある人は、今後、地道な努力を積み重ねて、博士課程進学に積極的にチャレンジしてみるのもよいでしょう。

現在も、修士課程と専門職学位課程は、現職教員に充実した研修の機会を提供するという役割を担っているのですが、地方財政の困窮を背景に、現職教員の派遣人数が減少してきて、学部から直接進学してくる大学院生（いわゆるストレートマスター）が増加してきております。

我が国の多くの大学の場合、学部生と大学院生とでは、学部生が圧倒的多数を占めています。しかし、本学では、現在は学部の入学定員が160名であり、大学院が300名でありますから、学部と大学院をそれぞれ合計して比べてみても学部がやや多いというくらいであり、これは、近隣の大学では見られない光景であります。

このことと関連していること（現象）かと理解していますが、本学の図書館の利用率の高さは、極めて良好であり、全国立大学の中でも、最上位層に位置していると思われまふ。大学院生の図書館利用が活発であることが全体の利用率の高さを引き上げているのです。

図書館の蔵書の豊富さと図書館利用率の高さは、その大学がその国の大学全体の中で、どの程度に位置づく大学であるか、つまり「大学の實力」を見る上で重要な手掛かりになります。「大学の實力」の鍵となるのは「大学生の實力」です。皆さんも、どんどん図書館を活用して、大学生としての實力を養って下さい。

大学生としての實力を鍛える上で、読書により理解を広め、思索を深めることだけでなく、自発的な体験を通して、学ぶことの感動、充実感、工夫する力、協調する力（協調性）等を身に付けていくことも大切であります。今回の大災害被災者の支援活動にも地元のNPO法人上越地域学校教育支援センター等との連携によって、20名を超える学部生、大学院生が活躍してくれております。また、日頃の学校支援活動としても、ボランティア活動を積極的に位置づけていく試みを本学では進めています。

未曾有の大災害により被災者は、様々な救援・支援を必要としております。このように多くの人達が亡くなり、また、負傷したり、経済的に苦しんでいる時にあつて皆さんは、教育を通じて国の再建・復興を図るとい

う役割を担っていく自覚と、教師に必要とされる総合的な資質を磨き高める粘り強い努力が決定的に重要であります。上越教育大学生としての学びを自分の利益を実現するための手段であると小さく位置づけるのではなく、この国と国民の明日と将来を明るく、希望のもてるものに変えていく大切な大事業に貢献していくのだという、大きな志をもって、勉学に励んでくれることを切に願い、二つの努力目標を掲げて、告辞の結びと致します。

“全国からの 俊英達よ プロを目指して 学び合え”

“生きる力を 教える私の 何を磨くか 絶えず問え”



学 事

○大学院入学者選抜試験（後期募集）

平成23年度大学院学校教育研究科入学者選抜試験（後期募集）を次のとおり実施した。
修士課程は、募集人員 63人（学校教育専攻 20人，教科・領域教育専攻 23人）に対し、
応募者 46人，合格者 31人であった。

専門職学位課程（教職大学院）は、募集人員 20人（教育実践リーダーコース 10人，学
校運営リーダーコース 10人）に対し，応募者 7人，合格者 6人であった。

入学願書受付 平成23年 1月31日（月）～2月8日（火）

試 験 日 平成23年 3月3日（木）

合格者発表 平成23年 3月17日（木）

○学部一般入試（後期日程）

平成23年度学校教育学部一般入試（後期日程）を次のとおり実施した。
また，東北地方太平洋沖地震の発生に伴う対応として，追試験を行った。
募集人員33人に対し，応募者398人，合格者40人であった。

入学願書受付 平成23年 1月24日（月）～平成23年 2月2日（水）

試 験 日 平成23年 3月12日（土）【本試験】，平成23年 3月17日（木）【追試験】

合格者発表 平成23年 3月22日（火）

○兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科の学位記授与式

兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科（博士課程）の平成22年度学位記授与式が，
平成23年 3月24日（木）に兵庫教育大学において行われた。

なお，修了者14人（前期末修了者2人を除く。）のうち，本学の配属学生は2人である。

○兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科の入学式

兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科（博士課程）の平成23年度入学式が，平成23
年 4月12日（火）に兵庫教育大学において行われた。

なお，入学者28人のうち，本学の配属学生は2人である。

○学生表彰式

平成23年3月18日(金)の卒業証書・学位記授与式の後、平成22年度学生表彰式を行った。

学生表彰は、クラス担当教員及び学生団体顧問教員等の推薦に基づき、研究活動や社会活動で優れた成果をあげている学生、課外活動で優秀な成績を収めた学生や団体、学業が特に優れている学生等を対象とし、今年度は7人の学生と1課外活動団体を表彰した。

【表彰された学生及び学生団体】

氏 名	表 彰 事 由
学校教育学部教科・領域教育専修 自然系コース（理科）4年 荻原 理央	卒業論文「富山県高岡市周辺の上部新生界より産出した貝化石群と古環境」において、これまで十分な調査がされていなかった富山県高岡市頭川周辺の貝化石について詳細な検討を行い、その全容及びそれに基づく古環境の変遷を明らかにした。 平成23年7月開催の日本古生物学会で発表を予定していることから卒業論文のレベルを超えており、かつ学術的に優れていると認められる。
学校教育学部教科・領域教育専修 社会系コース 3年 深草 めぐみ 生活健康系コース（保健体育）3年 村橋 史香	平成22年度北信越学生テニストーナメント大会 女子ダブルス優勝
硬式テニス部	平成22年度北信越大学対抗テニス選手権大会 女子優勝
学校教育学部学校教育専修 臨床心理学コース 4年 廣川 泉	学業成績優秀者
学校教育学部教科・領域教育専修 言語系コース（英語） 4年 中山 知美	学業成績優秀者
学校教育学部教科・領域教育専修 言語系コース（英語） 4年 青柳 智美	学業成績優秀者
学校教育学部教科・領域教育専修 社会系コース 4年 篠原 麗子	学業成績優秀者

※学年は平成23年3月18日現在。

○平成22年度課外活動団体リーダーズ・トレーニング研修

スキル・トレーニングや意見交換等の活動を通して、課外活動団体のリーダーとしての任務を深く認識させるとともにその資質の向上を図ること、及び課外活動団体相互の理解を深め、充実した課外活動の運営と発展に寄与するリーダーの育成を目指すことを目的として実施した。

期 日

平成23年 3月10日（木）・11日（金）
（1泊2日）

場 所

国立妙高青少年自然の家

参加人員

学生：89人

団体：40団体

教職員：9人



○平成22年度「海外教育（特別）研究A」

平成22年度授業科目「海外教育（特別）研究A」を平成23年3月5日（土）から3月17日（木）までの13日間、オーストラリアにおいて次のとおり実施した。

訪 問 先 ウェストミンスター・スクール，フリンダース大学，公立学校（以上アデレード）及びシドニー

※ 参加学生は、現地学校で授業参観や授業実践を行ったほか、アデレードとシドニーで文化研修を行った。

参加学生 学部学生 5人，大学院学生 3人，計8人

引 率 者 大場 孝信 准教授（自然・生活教育学系）

細江 容子 教授（自然・生活教育学系）

ブラウン・アイヴァン・バーナード 特任講師



○平成23年度新入生オリエンテーション

新入生が、学生生活を送る上で知っておく必要がある教育課程、履修方法及び学生指導等に係る基本的知識を修得することを目的として実施した。

期 日 平成23年4月6日（水）～7日（木）

場 所 講堂，講義棟301教室ほか

内 容 〈学部〉

大学教育，教育課程と履修方法，海外教育研究，クラス担当教員による指導，学生指導，保健管理センターほか

〈大学院〉

大学院の教育・研究，教育課程と履修方法，海外教育特別研究，個別指導，学生指導，保健管理センター，就職指導ほか

○平成23年度新入生図書館利用ガイダンス

新入生に、図書館の施設・設備を案内するとともに自動貸出装置、OPAC(蔵書目録)及びマルチメディアコーナー設置のパソコンの利用方法を説明した。

期 日 4月7日（木）～15日（金）の平日 各1回30分（13日のみ2回）

参加人数 合計 66人

○情報セキュリティ講演会

新入生及び在学生と教職員を対象として、大学における教育・研究等の学生生活において、コンピュータのウイルス感染や不正侵入，個人情報流出などの対策等，安全にコンピュータを利用するために必要不可欠である，「情報セキュリティ対策」に関して以下のとおり講演会を実施した。

期 日 平成23年4月13日（水）

場 所 講 堂

講 師 情報メディア教育支援センター 准教授 井上 久祥

参加人員 学部新入生：168人 / 大学院新入生：201人



○新入生ノートパソコン準備講習会

新入生が各自の所有するノートパソコンを、学内において活用できるようサポートするため、次のとおり講習会を実施した。

期 日	平成23年 4月11日(月)～15日(金), 18日(月)～22日(金)
場 所	教育情報訓練室 2
講習内容	1) 学内ネットワーク接続の方法 2) ポータルサイト, Webメール, 講義支援システムの利用方法 3) アンチウイルスソフトの導入方法 等
参加人員	学部新入生 169人 / 大学院新入生 95人



○平成23年度新入生（合宿）研修

入学後間もない時期に集団活動（生活）を通じて、新入学生相互並びに教職員との親和を図り、お互いの理解を深め、その後の学業上・生活上の安定・充実を図ることを目的として実施した。

期 日	平成23年 4月22日(金)・23日(土)
場 所	上越教育大学
参加人員	1年次学生 168人 / 教職員 5人

○平成23年度文献の探し方ガイダンス

マルチメディアコーナーでOPAC, Webcat, CiNii, 機関リポジトリの使い方の実習を行ったほか、学外機関への文献複写依頼及び図書館の借受方法を説明した。

期 日	4月20日(水)～28日(木)の平日 各日13:20～14:10, 15:00～15:50
参加人数	合計 40人

人 事

○役員等紹介

役 職	氏 名	任 期	経 歴
理 事	ときた よしのぶ 戸 北 凱 惟	平成23年4月1日 ～平成25年3月31日	昭和44年 4月 新潟大学教育学部助手 昭和48年 4月 新潟大学教育学部講師 昭和50年 9月 新潟大学教育学部助教授 昭和58年 4月 上越教育大学学校教育学部助教授 平成 元年 4月 上越教育大学学校教育学部教授 平成 5年 4月 上越教育大学学校教育学部附属小学校長 平成15年 4月 上越教育大学学校教育総合研究センター長 平成16年 4月 上越教育大学副学長 平成21年 4月 国立大学法人上越教育大学理事 平成23年 4月 国立大学法人上越教育大学理事兼副学長
理 事 (非常勤)	おばら よしあき 小 原 芳 明	平成23年4月1日 ～平成25年3月31日	昭和48年 4月 玉川学園女子短期大学教養科助手 昭和56年 4月 玉川大学文学部専任講師 昭和59年 4月 玉川大学文学部助教授 昭和62年 4月 玉川大学文学部教授 平成 6年 4月 学校法人玉川学園理事長 平成 6年 4月 学校法人玉川学園学園長 平成 6年 4月 玉川大学学長 平成12年 4月 上越教育大学運営諮問会議委員 (～平成16年3月) 平成21年 4月 国立大学法人上越教育大学理事
副学長	かとう やすき 加 藤 泰 樹	平成23年4月1日 ～平成25年3月31日	昭和62年 4月 東京家政学院短期大学講師 平成 2年 9月 上越教育大学学校教育学部講師 平成 4年 9月 上越教育大学学校教育学部助教授 平成13年 8月 上越教育大学学校教育学部教授 平成15年 4月 上越教育大学学校教育学部附属小学校長 平成19年 4月 上越教育大学大学院学校教育研究科教授 平成19年 4月 上越教育大学学校教育総合研究センター長 平成20年 4月 上越教育大学学校教育実践研究センター長 平成21年 4月 上越教育大学副学長
副学長	かわさき なおや 川 崎 直 哉	平成23年4月1日 ～平成25年3月31日	昭和56年 4月 高知大学教育学部助手 昭和57年 4月 高知大学教育学部助教授 平成 2年 9月 上越教育大学学校教育学部助教授 平成 9年 2月 上越教育大学学校教育学部教授 平成13年 4月 上越教育大学情報処理センター長 平成16年 4月 上越教育大学副学長
副学長	さとう よしのり 佐 藤 芳 徳	平成23年4月1日 ～平成25年3月31日	昭和56年 4月 宇都宮大学教育学部助手 昭和62年 4月 上越教育大学学校教育学部講師 平成 元年 4月 上越教育大学学校教育学部助教授 平成11年 4月 上越教育大学学校教育学部教授 平成19年 4月 上越教育大学大学院学校教育研究科教授 平成19年 4月 上越教育大学附属小学校長 平成21年 4月 上越教育大学副学長

○エンジン部門

総合企画室等の室員名簿

	教員等	事務系職員	支援部署	備考
1 総合企画室 室長：戸北副学長	○ 戸北 凱惟 川崎 直哉 ※検討事項により，スポットで追加	鉄本 清隆 亀井 宣幸 細谷 敏明 渡邊 茂康	企画室	
2 評価支援室 室長：川崎副学長	○ 川崎 直哉 松本 修 野村眞木夫 光永伸一郎 直原 幹 西村 俊夫 杉浦 英樹 河合 康 志村 喬 小川 茂	後藤 公夫 鉄本 清隆 上原 光夫	企画室	
3 知的財産本部 本部長：戸北副学長	○ 戸北 凱惟 黎 子椰 高石 次郎 大森 康正	山口 信幸 米内 治	研究連携室	
4 地域連携推進室 室長：戸北理事	○ 戸北 凱惟 石野 正彦 久保田善彦 齋藤 一雄 光永伸一郎 古閑 晶子	石田 芳邦 星野 太一 渡邊真紀子	研究連携室	
5 国際交流推進室 室長：戸北理事	○ 戸北 凱惟 釜田 聡 川村 知行 藤岡 達也 五十嵐透子 加藤 雅啓 下里 俊行 北條 礼子 岩崎 浩 細江 容子 黎 子椰 高石 次郎	田島 弘司 押木 秀樹 志村 喬 中里 理子 野地 美幸 原 瑞穂 阿部亮太郎 榊原 潔 生澤 繁樹 森口 佑介 Brown, Ivan Bernard	下川 洋司 佐藤 裕子 永井 和行 伊藤 孝之	研究連携室

○人事異動

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
	役 員			
H23. 4. 1	任 命 任 命	理事 理事	戸 北 凱 惟 小 原 芳 明	理事 理事
	部局長等			
H23. 3. 31 H23. 4. 1	任期滿了 兼 務 任用更新 任用更新 任用更新 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命	副学長 副学長 副学長 副学長 経営協議会委員 経営協議会委員 経営協議会委員 経営協議会委員 教育研究評議会評議員 教育研究評議会評議員 教育研究評議会評議員 教育研究評議会評議員 教育研究評議会評議員 教育研究評議会評議員 教育研究評議会評議員 教育研究評議会評議員 教育研究評議会評議員 教育研究評議会評議員 教育研究評議会評議員 教育研究評議会評議員 教育研究評議会評議員 教育研究評議会評議員 教育研究評議会評議員	下 西 善三郎 戸 北 凱 惟 加 藤 泰 樹 川 崎 直 哉 佐 藤 芳 德 戸 北 凱 惟 川 崎 直 哉 加 藤 泰 樹 立屋敷 かおる 戸 北 凱 惟 加 藤 泰 樹 川 崎 直 哉 佐 藤 芳 德 下 西 善三郎 梅 野 正 信 我 妻 敏 博 山 本 友 和 中 川 仁 伊 藤 政 展 林 泰 成 西 村 俊 夫 廣 瀬 裕 一 加 藤 雅 啓 小 林 辰 至 阿 部 靖 子	副学長 理事 副学長 副学長 副学長 理事 副学長 副学長 教授（自然・生活教育学系） 理事 副学長 副学長 副学長 教授（人文・社会教育学系） 教授（学校教育学系） 教授（臨床・健康教育学系） 教授（人文・社会教育学系） 教授（自然・生活教育学系） 教授（芸術・体育教育学系） 教授「学校教育専攻」 教授「教科・領域教育専攻」 教授「教育実践高度化専攻」 教授（人文・社会教育学系） 教授（自然・生活教育学系） 教授（芸術・体育教育学系）

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
	任命	教育研究評議会評議員	渡 部 良 和	事務局長
	任命	教育研究評議会評議員	下 川 洋 司	学務部長
	兼務	附属図書館長	下 西 善三郎	教授（人文・社会教育学系）
	兼務	学校教育実践研究センター長	川 村 知 行	教授（学校教育学系）
	兼務	保健管理センター所長	上 野 光 博	教授（臨床・健康教育学系）
	兼務	情報メディア教育支援センター長	南 部 昌 敏	教授（学校教育学系）
	兼務	心理教育相談室長	加 藤 哲 文	教授（臨床・健康教育学系）
	兼務	特別支援教育実践研究センター長	大 庭 重 治	教授（臨床・健康教育学系）
	兼務	附属幼稚園長	阿 部 靖 子	教授（芸術・体育教育学系）
	兼務	附属小学校長	加 藤 雅 啓	教授（人文・社会教育学系）
	兼務	附属中学校長	藤 岡 達 也	教授（学校教育学系）
	兼務	学校教育学系長	梅 野 正 信	教授（学校教育学系）
	兼務	臨床・健康教育学系長	我 妻 敏 博	教授（臨床・健康教育学系）
	兼務	人文・社会教育学系長	山 本 友 和	教授（人文・社会教育学系）
	兼務	自然・生活教育学系長	中 川 仁	教授（自然・生活教育学系）
	兼務	芸術・体育教育学系長	伊 藤 政 展	教授（芸術・体育教育学系）
	兼務	学校教育専攻長	林 泰 成	教授（学校教育学系）
	兼務	教科・領域教育専攻長	西 村 俊 夫	教授（芸術・体育教育学系）
	兼務	教育実践高度化専攻長	廣 瀬 裕 一	教授（学校教育学系）
	大学教員			
H23. 3. 30	退職	（聖籠町立聖籠中学校教諭）	佐 藤 佐 敏	特任准教授（学校教育実践研究センター）
H23. 3. 31	定年退職		溝 上 武 實	教授（自然・生活教育学系）
	定年退職		峯 岸 創	教授（芸術・体育教育学系）
	退職	聖徳大学児童学部教授	増 井 三 夫	教授（学校教育学系）
	退職	順天堂大学スポーツ健康科学部教授	下 村 義 夫	教授（芸術・体育教育学系）
	退職	日本女子大学人間社会学部准教授	藤 田 武 志	准教授（学校教育学系）
	退職	横浜国立大学教育人間科学部准教授	両 角 達 男	准教授（学校教育学系）
	任期満了		笹 川 恵美子	特任教授（学校教育実践研究センター）
	任期満了	魚沼市立入広瀬小学校長	伊 佐 貢 一	特任准教授（学校教育実践研究センター）
H23. 4. 1	昇任	教授（学校教育学系）	久保田 善彦	准教授（学校教育学系）
	採用	准教授（自然・生活教育学系）	齋 藤 敏 夫	
	採用	講師（芸術・体育教育学系）	尾 崎 祐 司	石川県立医王特別支援学校教諭

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
	採用	特任准教授（学校教育実践研究センター）	中野英康	上越市立大町小学校教頭
	採用	特任准教授（学校教育実践研究センター）	亀山浩	上越市立和田小学校教頭
	採用	特任准教授（学校教育実践研究センター）	金子淳嗣	佐渡市立内海府中学校教頭
	兼務	教授「教科・領域教育専攻生活・健康系コース」	加藤泰樹	副学長
	兼務	教授「教科・領域教育専攻生活・健康系コース」	川崎直哉	副学長
	兼務	教授「教科・領域教育専攻社会系コース」	佐藤芳徳	副学長
	兼務解除	教授（学校教育実践研究センター）	瀬戸健	教授（学校教育学系）
	兼務解除	教授（学校教育実践研究センター）	朝倉啓爾	教授（学校教育学系）
	兼務	教授（学校教育実践研究センター）	久保田善彦	教授（学校教育学系）
	兼務	教授（特別支援教育実践研究センター）	齋藤一雄	教授（臨床・健康教育学系）
	兼務	教授（特別支援教育実践研究センター）	我妻敏博	教授（臨床・健康教育学系）
	兼務	教授（特別支援教育実践研究センター）	大庭重治	教授（臨床・健康教育学系）
	兼務	准教授（特別支援教育実践研究センター）	河合康	准教授（臨床・健康教育学系）
	兼務	准教授（特別支援教育実践研究センター）	藤井和子	准教授（臨床・健康教育学系）
	兼務	准教授（特別支援教育実践研究センター）	笠原芳隆	准教授（臨床・健康教育学系）
	兼務	准教授（特別支援教育実践研究センター）	葉石光一	准教授（臨床・健康教育学系）
	兼務	講師（特別支援教育実践研究センター）	八島猛	講師（臨床・健康教育学系）
附属教員				
H23. 3. 31	退職	上越市立国府小学校校長	小出佳子	附属幼稚園副園長
	退職	長岡市立信条小学校校長	山本浩昭	附属小学校教頭
	退職	村上市立平林小学校教頭	松岡博志	附属小学校主幹教諭
	退職	妙高市立新井小学校教諭	浅野一清	附属小学校教諭
	退職	長岡市立富曾亀小学校教諭	高峯綾子	附属小学校教諭
	退職	長岡市立栖吉小学校教諭	佐々木潤	附属小学校教諭
	退職	妙高市立新井中央小学校教諭	米岡洋	附属小学校教諭
	退職	妙高市立新井中学校栄養教諭	渡邊英里	附属小学校栄養教諭
	退職	上越市立板倉中学校校長	藤本孝昭	附属中学校副校長
	退職	新潟県立直江津中等教育学校教諭	中村浩	附属中学校教諭
	退職	上越市立直江津東中学校教諭	松風嘉男	附属中学校教諭
	退職	上越市立春日中学校教諭	柳澤一輝	附属中学校教諭
H23. 4. 1	採用	附属幼稚園副園長	國元慶子	妙高市立斐太南小学校校長

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
	採用	附属小学校教頭	泉 豊	長岡市立西谷小学校教頭
	昇任	附属小学校主幹教諭	青 木 弘 明	附属小学校指導教諭
	配置換	附属小学校指導教諭	古 川 勝 哉	附属小学校教諭
	採用	附属小学校教諭	長谷川 成 生	十日町市立西小学校教諭
	採用	附属小学校教諭	滝 沢 真紀子	上越市立里公小学校教諭
	採用	附属小学校教諭	水 谷 徹 平	長岡市立上組小学校教諭
	採用	附属小学校教諭	黒 岩 昭 伸	上越市立南本町小学校教諭
	採用	附属小学校教諭	中 山 舞	南魚沼市立六日町小学校教諭
	採用	附属小学校栄養教諭	牛 木 智 子	妙高市立新井中学校栄養教諭
	採用	附属中学校副校長	森 一 夫	上越教育事務所（城北中学校）充指導主事
	採用	附属中学校教諭	千 原 健 志	上越市立城北中学校教諭
	採用	附属中学校教諭	坂 田 和 也	妙高市立新井中学校教諭
	採用	附属中学校教諭	樋 口 雅 樹	上越市立春日中学校教諭
	事務系職員			
H23. 3. 31	退職	電気通信大学学生課長	長 津 昭	学務部学生支援課長
	退職	長岡技術科学大学学務部学務課長	渡 辺 明 弘	学務部入試課長
H23. 4. 1	在籍出向	国立妙高青少年自然の家管理係長	安 田 大 信	総務部企画室企画・評価チーム主査（主に情報運営担当）
	在籍出向	国立妙高青少年自然の家総務係長	島 田 一 馬	総務部総務課人事・労務チーム主任
	在籍出向	大学評価・学位授与機構管理部学位審査課認定専攻科係	齊 藤 正 信	学務部教育支援課教務支援チーム
	配置換	総務部広報室長	石 田 芳 邦	広報室長
	採用	学務部学生支援課長	高 島 純 一	福井大学財務部財務課長
	採用	学務部入試課長	江 田 進	東京海洋大学学務部入試課長
	配置換	総務部総務課総務チーム主任	志 賀 和 孝	学務部学生支援課学生支援チーム主任
	任期更新	総務部総務課総務チーム	江 口 清	総務部総務課総務チーム
	昇任	総務部総務課人事・労務チーム主査（主に職員・福祉担当）	五百川 初 恵	総務部総務課総務チーム主任
	配置換	総務部総務課人事・労務チーム	市 村 涉	学務部研究連携室研究連携チーム
	配置換	総務部企画室企画・評価チーム主査（主に評価担当）	水 野 栄 二	学務部入試課入試チーム主査（主に企画・調査担当）
	復 帰	総務部企画室企画・評価チーム主査（主に情報運営担当）	岩 井 洋	国立妙高青少年自然の家総務係長

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
	配 置 換	総務部広報室広報チーム主査（主に広報担当）	永 井 和 行	広報室広報チーム主査（主に広報担当）
	採 用	学務部教育支援課教務支援チーム主任	馬 場 光 雄	長岡技術科学大学総務部総務課総務係主任
	配 置 換	学務部教育支援課教務支援チーム	滝 澤 義 明	学務部入試課入試チーム
	配 置 換	学務部教育支援課学校連携チーム主査（主に免許状更新講習担当）	齊 藤 昭 文	総務部企画室企画・評価チーム主査（主に評価担当）
	昇 任	学務部研究連携室室長補佐	瀧 本 一 幸	学務部研究連携室研究連携チーム主査（主に研究支援担当）
	復 帰	学務部研究連携室研究連携チーム主査（主に研究支援担当）	南 雲 晋	国立妙高青少年自然の家管理係長
	昇 任	学務部学生支援課副課長	恩 田 義 孝	学務部学生支援課学生支援チーム主査（主に学生企画担当）
	配 置 換	学務部学生支援課学生支援チーム主査（主に学生企画担当）	野 崎 薫	学務部教育支援課学校連携チーム主査（主に免許状更新講習担当）
	任期更新	学務部学生支援課学生支援チーム	池 田 健 助	学務部学生支援課学生支援チーム
	任期更新	学務部学生支援課学生支援チーム	舩 越 幸 子	学務部学生支援課学生支援チーム
	担当命免	学務部入試課入試チーム主査（主に企画・調査担当）	桐 山 敦 史	学務部入試課入試チーム主査（主に学部入試担当）
	配 置 換	学務部入試課入試チーム主査（主に学部入試担当）	安 原 覚	総務部総務課人事・労務チーム主査（主に職員・福祉担当）
	配 置 換	学務部入試課入試チーム主任	岡 村 和 彦	学務部教育支援課教務支援チーム主任
	兼 務	監査室室長	関 宗 興	総務部総務課長
	兼 務	監査室室員	佐 藤 誠 一	総務部総務課副課長
	兼 務	監査室室員	山 口 信 幸	総務部総務課総務チーム主査（主に法規担当）
	兼 務	監査室室員	水 野 栄 二	総務部企画室企画・評価チーム主査（主に評価担当）
	兼 務	監査室室員	米 内 治	総務部財務課財務チーム主査（主に財務・監査担当）
	非常勤職員 (キャリア コーディネーター)			
H23. 3. 31	退 職	（期間満了）	萬 羽 嗣 彦	学務部就職支援室就職支援チーム
	退 職	（期間満了）	山 口 文 雄	学務部就職支援室就職支援チーム
	退 職	（期間満了）	建 部 朝 美	学務部就職支援室就職支援チーム
H23. 4. 1	採 用	学務部就職支援室就職支援チーム	小 松 隆	

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
	採 用	学務部就職支援室就職支援チーム	陸 川 洋	
	採 用	学務部就職支援室就職支援チーム	涌 井 幸 夫	
	採 用	学務部就職支援室就職支援チーム	高 橋 守	
	(サイエンス パフォーマンス アドバイザー)			
H23. 4. 18	採 用	学務部教育支援課学校連携チーム	池 田 定 充	
	採 用	学務部教育支援課学校連携チーム	榎 嶋 誠太郎	
	採 用	学務部教育支援課学校連携チーム	中 澤 利 子	
	(事務補佐員)			
H23. 3. 11	退 職		荒 木 文 子	総務部総務課人事・労務チーム
H23. 3. 15	退 職		豊 岡 佳 苗	学務部教育支援課学校連携チーム
H23. 3. 31	退 職	(期間満了)	野 田 鮎 美	総務部総務課総務チーム
	退 職	(期間満了)	岩 野 智香子	総務部総務課総務チーム
	退 職	(期間満了)	渡 邊 利 一	学務部教育支援課学校連携チーム
	退 職	(期間満了)	川 田 歩 子	学務部就職支援室就職支援チーム
	退 職	(期間満了)	井 上 千 絵	学務部入試課入試チーム
H23. 4. 1	採 用	総務部総務課総務チーム	佐 藤 桂	
	採 用	総務部総務課総務チーム	佐々木 崇 博	
	採 用	学務部教育支援課教務支援チーム	栗 田 永 子	
	採 用	学務部教育支援課教務支援チーム	岩 淵 貴要子	
	採 用	学務部研究連携室研究連携チーム	北 澤 恵	
	採 用	学務部研究連携室研究連携チーム	宮 越 真奈美	
	採 用	学務部就職支援室就職支援チーム	荒 井 千賀子	
	採 用	学務部入試課入試チーム	倉 島 智 豊	
	(臨時用務員)			
H23. 3. 31	退 職	(期間満了)	高 橋 博 男	総務部施設マネジメント課施設チーム作業員
H23. 4. 1	採 用	総務部施設マネジメント課施設チーム作業員	山 田 一 郎	
H23. 4. 4	採 用	総務部附属学校事務室附属学校チーム調理員	鈴 木 美 里	

学内委員会等委員

教育研究評議会に置かれる委員会

大学改革委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
戸北 凱惟	理事	---		委員長
渡部 良和	理事	---		
加藤 泰樹	副学長	---		
川崎 直哉	副学長	---		
佐藤 芳徳	副学長	---		
下西善三郎	教授	---	23. 4. 1～25. 3. 31	
川村 知行	教授	---	23. 4. 1～25. 3. 31	
加藤 雅啓	教授	---	23. 4. 1～25. 3. 31	
梅野 正信	教授	---	23. 4. 1～25. 3. 31	
我妻 敏博	教授	---	23. 4. 1～25. 3. 31	
山本 友和	教授	---	23. 4. 1～25. 3. 31	
中川 仁	教授	---	23. 4. 1～25. 3. 31	
伊藤 政展	教授	---	23. 4. 1～25. 3. 31	
林 泰成	教授	---	23. 4. 1～25. 3. 31	
西村 俊夫	教授	---	23. 4. 1～25. 3. 31	
廣瀬 裕一	教授	---	23. 4. 1～25. 3. 31	
小林 辰至	教授	---	23. 4. 1～25. 3. 31	
下川 洋司	学務部長	---		

以上18名

教育研究評議会に置かれる委員会

大学教員人材評価委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
戸北 凱惟	理事	---		委員長
川崎 直哉	副学長	---		
梅野 正信	学校教育学系長	---		
我妻 敏博	臨床・健康教育学系長	---		
山本 友和	人文・社会教育学系長	---		
中川 仁	自然・生活教育学系長	---		
伊藤 政展	芸術・体育教育学系長	---		
林 泰成	学校教育専攻長	---		
西村 俊夫	教科・領域教育専攻長	---		
廣瀬 裕一	教育実践高度化専攻長	---		
石野 正彦	学長指名	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	

以上11名

教育研究評議会に置かれる委員会

学術研究委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
川崎 直哉	副学長	---		委員長
下西善三郎	附属図書館長	---		
川村 知行	学校教育実践研究センター長	---		
南部 昌敏	情報メディア教育支援センター長	---		
梅野 正信	学校教育学系長	---		
我妻 敏博	臨床・健康教育学系長	---		
山本 友和	人文・社会教育学系長	---		
中川 仁	自然・生活教育学系長	---		
伊藤 政展	芸術・体育教育学系長	---		
小林 恵	学校臨床研究コース長	---		
内田 一成	臨床心理学コース長	---		
丸山 良平	幼児教育コース長	---		
土谷 良巳	特別支援教育コース長	---		
野村眞木夫	言語系コース長	---		
松田 慎也	社会系コース長	---		
中村 雅彦	自然系コース長	---		
平野 俊介	芸術系コース長	---		
得丸 定子	生活・健康系コース長	---		
西川 純	教育実践リーダーコース長 学校運営リーダーコース長	---		
下川 洋司	学務部長	---		

以上20名

教育研究評議会に置かれる委員会

カリキュラム企画運営会議

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
佐藤 芳徳	副学長	---		議長
東原 貴志	教務委員会委員	准教授	23.4.1～25.3.31	
釜田 聡	教育実習委員会委員	教授	23.4.1～25.3.31	
土田 了輔	ファカルティ・ディベロップメント委員会委員	准教授	23.4.1～25.3.31	
後藤 公夫	総務部企画室長	---		
亀井 宣幸	学務部教育支援課長	---		
梅野 正信	学長指名	教授	23.4.1～25.3.31	
林 泰成	学長指名	教授	23.4.1～25.3.31	
河合 康	学長指名	准教授	23.4.1～25.3.31	
野村眞木夫	学長指名	教授	23.4.1～25.3.31	
中里 理子	学長指名	准教授	23.4.1～25.3.31	
志村 喬	学長指名	准教授	23.4.1～25.3.31	
小林 辰至	学長指名	教授	23.4.1～25.3.31	
西村 俊夫	学長指名	教授	23.4.1～25.3.31	
立屋敷かおる	学長指名	教授	23.4.1～25.3.31	
松本 修	学長指名	教授	23.4.1～25.3.31	
石野 正彦	学長指名	教授	23.4.1～25.3.31	

以上17名

法人に置かれる委員会

セクシュアル・ハラスメント等人権侵害対策委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
戸北 凱惟	理事	---		委員長
梅野 正信	学校教育学系長	---		
我妻 敏博	臨床・健康教育学系長	---		
山本 友和	人文・社会教育学系長	---		
中川 仁	自然・生活教育学系長	---		
伊藤 政展	芸術・体育教育学系長	---		
上野 光博	保健管理センター所長	---		
阿部 靖子	附属幼稚園長	---	23. 4. 1～25. 3. 31	
渡部 良和	総務部長事務取扱	---		
下川 洋司	学務部長	---		

以上10名

法人に置かれる委員会

大学評価委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
川崎 直哉	副学長	---		委員長
川村 知行	学校教育実践研究センター長	---		
内藤 美加	学校教育学系	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
村中 智彦	臨床・健康教育学系	講師	22. 4. 1～24. 3. 31	
吉田 昌幸	人文・社会教育学系	講師	22. 4. 1～24. 3. 31	
高橋 等	自然・生活教育学系	准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
大橋奈希左	芸術・体育教育学系	准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
安藤 知子	学校教育専攻	准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
山本 友和	教科・領域教育専攻	教授	23. 4. 1～24. 3. 31	
久保田善彦	教育実践高度化専攻	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
阿部 靖子	附属幼稚園長	---	23. 4. 1～25. 3. 31	
渡部 良和	事務局長	---		
下川 洋司	学務部長	---		
西村 俊夫	学長指名	教授	23. 4. 1～25. 3. 31	

以上14名

法人に置かれる委員会

情報・広報委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
戸北 凱惟	理事	---		委員長
田島 弘司	学校教育学系	准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
藤井 和子	臨床・健康教育学系	准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
志村 喬	人文・社会教育学系	准教授	22. 5. 12～24. 3. 31	
伊達 文治	自然・生活教育学系	准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
長谷川正規	芸術・体育教育学系	講師	22. 4. 1～24. 3. 31	
釜田 聡	学校教育実践研究センター	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
井上 久祥	情報メディア教育支援センター	准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
國元 慶子	附属幼稚園副園長	---	23. 4. 1～25. 3. 31	
渡部 良和	総務部長事務取扱	---		
下川 洋司	学務部長	---		
安部 泰	学長指名	講師	23. 4. 1～25. 3. 31	

以上12名

法人に置かれる委員会

施設安全・環境委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
川崎 直哉	副学長	---		委員長
赤坂 真二	学校教育学系	准教授	22.4.1～24.3.31	
稲垣 応顕	学校教育学系	准教授	22.4.1～24.3.31	
井沢功一朗	臨床・健康教育学系	講師	22.4.1～24.3.31	
角田智恵美	臨床・健康教育学系	講師	22.4.1～24.3.31	
前川 利広	人文・社会教育学系	教授	23.4.1～24.3.31	
畔上 直樹	人文・社会教育学系	准教授	22.4.1～24.3.31	
谷 友和	自然・生活教育学系	講師	22.4.1～24.3.31	
下村 博志	自然・生活教育学系	講師	23.4.1～24.3.31	
平野 俊介	芸術・体育教育学系	教授	22.4.1～24.3.31	
松尾 大介	芸術・体育教育学系	准教授	22.4.1～24.3.31	
阿部 靖子	附属幼稚園長	---	23.4.1～25.3.31	
渡部 良和	総務部長事務取扱	---		
下川 洋司	学務部長	---		

以上14名

法人に置かれる委員会

男女共同参画推進委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
戸北 凱惟	理事	---		委員長
梅野 正信	学校教育学系長	---	23. 4. 1～25. 3. 31	
中川 仁	自然・生活教育学系長	---	23. 4. 1～25. 3. 31	
西村 俊夫	教科・領域教育専攻長	---	23. 4. 1～25. 3. 31	
林 泰成	教授	---	22. 4. 1～24. 3. 31	
内藤 美加	教授	---	22. 4. 1～24. 3. 31	
森 一夫	附属中学校副校長	---	23. 4. 1～24. 3. 31	
國元 慶子	附属幼稚園副園長	---	23. 4. 1～24. 3. 31	
大津 輝幸	事務系職員	---	22. 4. 1～24. 3. 31	
秋山由美子	事務系職員	---	22. 4. 1～24. 3. 31	
関 宗興	総務課長	---		
立屋敷かおる	学長指名	教授	23. 4. 1～25. 3. 31	
小島 伸之	学長指名	准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
瀧本 理恵	学長指名	事務系職員	22. 4. 1～24. 3. 31	

以上14名

法人に置かれる委員会

研究倫理審査委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
川崎 直哉	副学長	---		委員長
北條 礼子	人文・社会科学分野	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
梅野 正信	人文・社会科学分野	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
光永伸一郎	自然科学分野	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
立屋敷かおる	自然科学分野	教授	23. 4. 1～24. 3. 31	
上野 光博	保健管理センター	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
高橋 幸知	学外学識経験者	---	22. 4. 1～24. 3. 31	
増井 晃	学長指名	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	

以上8名

法人に置かれる委員会

研究活動の不正行為対策委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
川崎 直哉	副学長	---		委員長
(川崎 直哉)	学術研究委員会委員長	---		
布川 和彦	学校教育学系	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
我妻 敏博	臨床・健康教育学系	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
野村眞木夫	人文・社会教育学系	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
中村 雅彦	自然・生活教育学系	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
直原 幹	芸術・体育教育学系	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
高橋 幸知	学外有識者	---	22. 4. 1～24. 3. 31	

以上7名

教授会に置かれる委員会

配分予算検討委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
川崎 直哉	副学長	---		委員長
川村 知行	学校教育実践研究センター長	---		
小林 恵	学校臨床研究コース長	---		
内田 一成	臨床心理学コース長	---		
丸山 良平	幼児教育コース長	---		
土谷 良巳	特別支援教育コース長	---		
野村眞木夫	言語系コース長	---		
松田 慎也	社会系コース長	---		
中村 雅彦	自然系コース長	---		
平野 俊介	芸術系コース長	---		
得丸 定子	生活・健康系コース長	---		
西川 純	教育実践リーダーコース長 学校運営リーダーコース長	---		
小林 辰至	連合研究科副研究科長	---		
鉄本 清隆	財務課長	---		
内藤 美加	学長指名	教授	23. 4. 1～25. 3. 31	

以上15名

教授会に置かれる委員会

教務委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
佐藤 芳徳	副学長	---		委員長
大前 敦巳	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	22.4.1～24.3.31	
古閑 晶子	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	23.4.1～25.3.31	
山本隆一郎	学校教育専攻 臨床心理学コース	助教	23.4.1～25.3.31	
香曾我部 琢	学校教育専攻 幼児教育コース	講師	23.4.1～25.3.31	
笠原 芳隆	学校教育専攻 特別支援教育コース	准教授	22.4.1～24.3.31	
北條 礼子	教科・領域教育専攻 言語系コース	教授	23.4.1～25.3.31	
高本 條治	教科・領域教育専攻 言語系コース	准教授	22.4.1～24.3.31	
下里 俊行	教科・領域教育専攻 社会系コース	教授	23.4.1～25.3.31	
小林 辰至	教科・領域教育専攻 自然系コース	教授	22.4.1～24.3.31	
伊達 文治	教科・領域教育専攻 自然系コース	准教授	23.4.1～25.3.31	
後藤 丹	教科・領域教育専攻 芸術系コース	教授	22.4.1～24.3.31	
高石 次郎	教科・領域教育専攻 芸術系コース	教授	23.4.1～25.3.31	
細江 容子	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	23.4.1～25.3.31	
増井 晃	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	23.4.1～25.3.31	
周東 和好	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	准教授	22.4.1～24.3.31	
東原 貴志	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	准教授	22.4.1～24.3.31	
松沢 要一	教育実践高度化専攻	准教授	23.4.1～24.3.31	
石野 正彦	学校教育実践研究センター	教授	22.4.1～24.3.31	
下川 洋司	学務部長	---		
亀井 宣幸	教育支援課長	---		

以上21名

教授会に置かれる委員会

教育実習委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
松本 健義	学校教育専攻 学校臨床研究コース	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
佐藤 淳一	学校教育専攻 臨床心理学コース	准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
鈴木 情一	学校教育専攻 幼児教育コース	教授	23. 4. 1～25. 3. 31	
齋藤 一雄	学校教育専攻 特別支援教育コース	教授	23. 4. 1～25. 3. 31	
押木 秀樹	教科・領域教育専攻 言語系コース	准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
吉田 昌幸	教科・領域教育専攻 社会系コース	講師	23. 4. 1～25. 3. 31	
稲田 結美	教科・領域教育専攻 自然系コース	講師	22. 4. 1～24. 3. 31	
五十嵐史帆	教科・領域教育専攻 芸術系コース	准教授	23. 4. 1～25. 3. 31	
光永伸一郎	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	23. 4. 1～25. 3. 31	
松本 修	教育実践高度化専攻	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
釜田 聡	学校教育実践研究センター	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	委員長
石野 正彦	学校教育実践研究センター	教授	23. 4. 1～25. 3. 31	
渡辺 径子	学校教育実践研究センター	特任准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
中野 博幸	学校教育実践研究センター	特任准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
清水 雅之	学校教育実践研究センター	特任准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
津野 治彦	学校教育実践研究センター	特任准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
中野 英康	学校教育実践研究センター	特任准教授	23. 4. 1～24. 3. 31	
亀山 浩	学校教育実践研究センター	特任准教授	23. 4. 1～24. 3. 31	
金子 淳嗣	学校教育実践研究センター	特任准教授	23. 4. 1～25. 3. 31	
國元 慶子	附属幼稚園副園長	---		
神村 大輔	附属小学校副校長	---		
森 一夫	附属中学校副校長	---		
下川 洋司	学務部長	---		
亀井 宣幸	教育支援課長	---		
久保田善彦	学長指名	教授	23. 4. 1～25. 3. 31	
小林 優子	学長指名	助教	23. 4. 1～25. 3. 31	

以上26名

教授会に置かれる委員会

学生委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
井上 久祥	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	23.4.1～24.3.31	
奥村 太一	学校教育専攻 学校臨床研究コース	講師	23.4.1～25.3.31	
高橋 靖子	学校教育専攻 臨床心理学コース	准教授	23.4.1～25.3.31	
丸山 良平	学校教育専攻 幼児教育コース	教授	23.4.1～25.3.31	
八島 猛	学校教育専攻 特別支援教育コース	講師	22.4.1～24.3.31	
小埜 裕二	教科・領域教育専攻 言語系コース	教授	23.4.1～24.3.31	
大場 浩正	教科・領域教育専攻 言語系コース	准教授	23.4.1～25.3.31	
浅倉 有子	教科・領域教育専攻 社会系コース	教授	23.4.1～25.3.31	
宮川 健	教科・領域教育専攻 自然系コース	准教授	22.4.1～24.3.31	
濤崎 智佳	教科・領域教育専攻 自然系コース	准教授	23.4.1～25.3.31	
玉村 恭	教科・領域教育専攻 芸術系コース	講師	22.4.1～24.3.31	
伊藤 将和	教科・領域教育専攻 芸術系コース	講師	23.4.1～25.3.31	
黎 子椰	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	22.4.1～24.3.31	
市川 真澄	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	23.4.1～25.3.31	
立屋敷かおる	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	23.4.1～25.3.31	
吉澤 千夏	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	准教授	22.4.1～24.3.31	
瀬戸 健	教育実践高度化専攻	教授	22.4.1～24.3.31	
上野 光博	保健管理センター所長	---		
下川 洋司	学務部長	---		
高島 純一	学生支援課長	---		
木村 吉彦	学長指名	教授	23.4.1～25.3.31	委員長
白木みどり	学長指名	准教授	23.4.1～25.3.31	

以上22名

教授会に置かれる委員会

就職委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
五十嵐素子	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	22.4.1～24.3.31	
辻村 貴洋	学校教育専攻 学校臨床研究コース	講師	22.4.1～24.3.31	
井沢功一郎	学校教育専攻 臨床心理学コース	講師	23.4.1～25.3.31	
杉浦 英樹	学校教育専攻 幼児教育コース	准教授	23.4.1～25.3.31	
迎 勝彦	教科・領域教育専攻 言語系コース	准教授	22.4.1～24.3.31	
石濱 博之	教科・領域教育専攻 言語系コース	准教授	23.4.1～25.3.31	
山縣耕太郎	教科・領域教育専攻 社会系コース	准教授	23.4.1～25.3.31	
高津戸 秀	教科・領域教育専攻 自然系コース	教授	23.4.1～24.3.31	
中川 仁	教科・領域教育専攻 自然系コース	教授	23.4.1～25.3.31	
上野 正人	教科・領域教育専攻 芸術系コース	准教授	22.4.1～24.3.31	
安部 泰	教科・領域教育専攻 芸術系コース	講師	23.4.1～24.3.31	
立屋敷かおる	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	23.4.1～25.3.31	
大森 康正	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	准教授	23.4.1～25.3.31	
廣瀬 裕一	教育実践高度化専攻	教授	22.4.1～24.3.31	委員長
下川 洋司	学務部長	---		
中島 忍	就職支援室長	---		

以上16名

教授会に置かれる委員会

入学試験委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
加藤 泰樹	副学長	---		委員長
越 良子	学校教育専攻 学校臨床研究コース	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
五百川 裕	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	23. 4. 1～25. 3. 31	
佐藤 淳一	学校教育専攻 臨床心理学コース	准教授	23. 4. 1～25. 3. 31	
杉浦 英樹	学校教育専攻 幼児教育コース	准教授	23. 4. 1～25. 3. 31	
藤井 和子	学校教育専攻 特別支援教育コース	准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
平野 絹枝	教科・領域教育専攻 言語系コース	教授	23. 4. 1～25. 3. 31	
中里 理子	教科・領域教育専攻 言語系コース	准教授	23. 4. 1～25. 3. 31	
小島 伸之	教科・領域教育専攻 社会系コース	准教授	22. 5. 12～24. 3. 31	
松本 健吾	教科・領域教育専攻 自然系コース	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
長谷川敦司	教科・領域教育専攻 自然系コース	准教授	23. 4. 1～24. 3. 31	
阿部 靖子	教科・領域教育専攻 芸術系コース	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
時得 紀子	教科・領域教育専攻 芸術系コース	准教授	23. 4. 1～25. 3. 31	
黎 子椰	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	23. 4. 1～25. 3. 31	
得丸 定子	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	23. 4. 1～24. 3. 31	
清水 富弘	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	准教授	23. 4. 1～25. 3. 31	
角田智恵美	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	講師	23. 4. 1～25. 3. 31	
岩崎 浩	教育実践高度化専攻	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
上野 光博	保健管理センター所長	---		
佐藤 芳徳	教務委員会委員長	---		
戸北 凱惟	国際交流推進室長	---		
下川 洋司	学務部長	---		
江田 進	入試課長	---		
南部 昌敏	学長指名	教授	23. 4. 1～25. 3. 31	

以上24名

教授会に置かれる委員会

ファカルティ・ディベロップメント委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
佐藤 芳徳	副学長	---		委員長
角谷 詩織	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	23. 4. 1～25. 3. 31	
加藤 哲文	学校教育専攻 臨床心理学コース	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
鈴木 情一	学校教育専攻 幼児教育コース	教授	23. 4. 1～25. 3. 31	
大庭 重治	学校教育専攻 特別支援教育コース	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
野地 美幸	教科・領域教育専攻 言語系コース	准教授	23. 4. 1～25. 3. 31	
赤羽 孝之	教科・領域教育専攻 社会系コース	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
斎藤 敏夫	教科・領域教育専攻 自然系コース	准教授	23. 4. 1～25. 3. 31	
阿部亮太郎	教科・領域教育専攻 芸術系コース	准教授	22. 10. 1～24. 3. 31	
土田 了輔	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	准教授	23. 4. 1～25. 3. 31	
木村 吉彦	教育実践高度化専攻 教育実践リーダーコース	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
早川 裕隆	教育実践高度化専攻 学校運営リーダーコース	准教授	23. 4. 1～25. 3. 31	
下川 洋司	学務部長	---		

以上13名

大学に置かれる委員会

教員免許状更新講習実施委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
川崎 直哉	副学長	---		委員長
佐久間亜紀	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	22.4.1~24.3.31	
橋本 定男	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	22.4.1~24.3.31	
宮下 敏恵	学校教育専攻 臨床心理学コース	准教授	22.4.1~24.3.31	
香曾我部 琢	学校教育専攻 幼児教育コース	講師	23.4.1~24.3.31	
河合 康	学校教育専攻 特別支援教育コース	准教授	22.4.1~24.3.31	
前川 利広	教科・領域教育専攻 言語系コース	教授	22.4.1~24.3.31	
渡部洋一郎	教科・領域教育専攻 言語系コース	准教授	23.4.1~24.3.31	
茨木 智志	教科・領域教育専攻 社会系コース	准教授	22.4.1~24.3.31	
高橋 等	教科・領域教育専攻 自然系コース	准教授	22.4.1~24.3.31	
定本 嘉郎	教科・領域教育専攻 自然系コース	准教授	23.4.1~24.3.31	
時得 紀子	教科・領域教育専攻 芸術系コース	准教授	22.4.1~24.3.31	
尾崎 祐司	教科・領域教育専攻 芸術系コース	講師	23.4.1~24.3.31	
山崎 貞登	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	22.4.1~24.3.31	
周東 和好	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	准教授	22.4.1~24.3.31	
佐藤ゆかり	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	講師	22.4.1~24.3.31	
角田智恵美	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	講師	22.4.1~24.3.31	
赤坂 真二	教育実践高度化専攻	准教授	22.4.1~24.3.31	
下川 洋司	学務部長	---		
亀井 宣幸	教育支援課長	---		

以上20名

附属施設等に置かれる委員会

附属図書館運営委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
下西善三郎	附属図書館長	---		委員長
林 泰成	学校教育専攻長	---		
西村 俊夫	教科・領域教育専攻長	---		
廣瀬 裕一	教育実践高度化専攻長	---		
貴村 好隆	学術情報課長	---		

以上5名

附属施設等に置かれる委員会

学校教育実践研究センター運営委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
川村 知行	学校教育実践研究センター長	---		委員長
釜田 聡	学校教育実践研究センター	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
石野 正彦	学校教育実践研究センター	教授	23. 4. 1～25. 3. 31	
中野 博幸	学校教育実践研究センター	特任准教授	23. 4. 1～24. 3. 31	
久保田善彦	学校教育学系	教授	23. 4. 1～24. 3. 31	
山本隆一郎	臨床・健康教育学系	助教	22. 10. 13～24. 3. 31	
畔上 直樹	人文・社会教育学系	准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
中川 仁	自然・生活教育学系	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
洞谷亜里佐	芸術・体育教育学系	准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
森 一夫	附属中学校副校長	---	23. 4. 1～25. 3. 31	
下川 洋司	学務部長	---		

以上11名

附属施設等に置かれる委員会

保健管理センター運営委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
上野 光博	保健管理センター所長	---		委員長
増井 晃	保健管理センター	教授		
木村 吉彦	学生委員会委員長	---		
小林 優子	学校教育専攻	助教	23. 4. 1～25. 3. 31	
大橋奈希左	教科・領域教育専攻	准教授	23. 4. 1～25. 3. 31	
武嶋 俊行	教育実践高度化専攻	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
渡部 良和	総務部長事務取扱	---		
下川 洋司	学務部長	---		
五十嵐透子	学長指名	教授	23. 4. 1～25. 3. 31	

以上9名

附属施設等に置かれる委員会

情報メディア教育支援センター運営委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
南部 昌敏	情報メディア教育支援センター長	---		委員長
大森 康正	情報メディア教育支援センター	准教授		
井上 久祥	情報メディア教育支援センター	准教授		
石川 真	情報メディア教育支援センター	准教授		
高野 浩志	情報メディア教育支援センター	講師		
水落 芳明	学校教育学系	准教授	23. 4. 1～25. 3. 31	
高橋 靖子	臨床・健康教育学系	准教授	23. 4. 1～25. 3. 31	
高本 條治	人文・社会教育学系	准教授	23. 4. 1～25. 3. 31	
長谷川敦司	自然・生活教育学系	准教授	23. 4. 1～25. 3. 31	
尾崎 祐司	芸術・体育教育学系	講師	23. 4. 1～25. 3. 31	

以上10名

附属施設等に置かれる委員会

心理教育相談室運営委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
加藤 哲文	心理教育相談室長	---		委員長
内田 一成	心理教育相談室相談員	教授		
五十嵐透子	心理教育相談室相談員	教授		
宮下 敏恵	心理教育相談室相談員	准教授		
佐藤 淳一	心理教育相談室相談員	准教授		
高橋 靖子	心理教育相談室相談員	准教授		
山本隆一郎	心理教育相談室相談員	助教		
上野 光博	保健管理センター所長	---		
大庭 重治	特別支援教育実践研究センター	教授	23. 4. 1～24. 3. 31	
下川 洋司	学務部長	---		

以上10名

附属施設等に置かれる委員会

特別支援教育実践研究センター運営委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
大庭 重治	特別支援教育実践研究センター長	---		委員長
土谷 良巳	特別支援教育実践研究センター	教授		
齋藤 一雄	特別支援教育実践研究センター	教授		
河合 康	特別支援教育実践研究センター	准教授		
藤井 和子	特別支援教育実践研究センター	准教授		
笠原 芳隆	特別支援教育実践研究センター	准教授		
葉石 光一	特別支援教育実践研究センター	准教授		
村中 智彦	特別支援教育実践研究センター	講師		
八島 猛	特別支援教育実践研究センター	講師		
小林 優子	特別支援教育実践研究センター	助教		
我妻 敏博	学校教育専攻 特別支援教育コース	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
内田 一成	心理教育相談室	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
下川 洋司	学務部長	---		

以上13名

附属施設等に置かれる委員会

附属学校運営委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
佐藤 芳徳	副学長	---		委員長
林 泰成	学校教育専攻長	---		
西村 俊夫	教科・領域教育専攻長	---		
廣瀬 裕一	教育実践高度化専攻長	---		
阿部 靖子	附属幼稚園長	---		
加藤 雅啓	附属小学校長	---		
藤岡 達也	附属中学校長	---		
國元 慶子	附属幼稚園副園長	---		
神村 大輔	附属小学校副校長	---		
森 一夫	附属中学校副校長	---		
渡部 良和	事務局長	---		

以上11名

運営の基本組織として置かれる委員会

連合大学院委員会

氏名	委員会組織における職名又は所属等	職名	備考	氏名	委員会組織における職名又は所属等	職名	備考
若井 彌一	学長	---	委員長	久保田善彦	先端課題実践開発連合講座	教授	
戸北 凱惟	副学長	---		鈴木 情一	先端課題実践開発連合講座	教授	
加藤 泰樹	副学長	---		西川 純	先端課題実践開発連合講座	教授	
川崎 直哉	副学長	---		林 泰成	先端課題実践開発連合講座	教授	
佐藤 芳徳	副学長	---		松本 修	先端課題実践開発連合講座	教授	
梅野 正信	学校教育方法連合講座	教授		丸山 良平	先端課題実践開発連合講座	教授	
越 良子	学校教育方法連合講座	教授		水落 芳明	先端課題実践開発連合講座	准教授	
内藤 美加	学校教育方法連合講座	教授		有澤俊太郎	言語系教育連合講座	教授	
中山勘次郎	学校教育方法連合講座	教授		小埜 裕二	言語系教育連合講座	教授	
南部 昌敏	学校教育方法連合講座	教授		加藤 雅啓	言語系教育連合講座	教授	
安藤 知子	学校教育方法連合講座	准教授		下西善三郎	言語系教育連合講座	教授	
五十嵐素子	学校教育方法連合講座	准教授		野村眞木夫	言語系教育連合講座	教授	
井上 久祥	学校教育方法連合講座	准教授		平野 絹枝	言語系教育連合講座	教授	
角谷 詩織	学校教育方法連合講座	准教授		北條 礼子	言語系教育連合講座	教授	
我妻 敏博	学校教育臨床連合講座	教授		前川 利広	言語系教育連合講座	教授	
五十嵐透子	学校教育臨床連合講座	教授		大場 浩正	言語系教育連合講座	准教授	
内田 一成	学校教育臨床連合講座	教授		押木 秀樹	言語系教育連合講座	准教授	
大庭 重治	学校教育臨床連合講座	教授		赤羽 孝之	社会系教育連合講座	教授	
加藤 哲文	学校教育臨床連合講座	教授		浅倉 有子	社会系教育連合講座	教授	
齋藤 一雄	学校教育臨床連合講座	教授		下里 俊行	社会系教育連合講座	教授	
河合 康	学校教育臨床連合講座	准教授		山本 友和	社会系教育連合講座	教授	
葉石 光一	学校教育臨床連合講座	准教授		茨木 智志	社会系教育連合講座	准教授	
宮下 敏恵	学校教育臨床連合講座	准教授		志村 喬	社会系教育連合講座	准教授	
村中 智彦	学校教育臨床連合講座	講師		山縣耕太郎	社会系教育連合講座	准教授	
木村 吉彦	先端課題実践開発連合講座	教授		天野 和孝	自然系教育連合講座	教授	

氏名	委員会組織における職名又は所属等	職名	備考
小林 辰至	自然系教育連合講座	教授	
高津戸 秀	自然系教育連合講座	教授	
中川 仁	自然系教育連合講座	教授	
中村 雅彦	自然系教育連合講座	教授	
藤岡 達也	自然系教育連合講座	教授	
松本 健吾	自然系教育連合講座	教授	
小川 茂	自然系教育連合講座	准教授	
濤崎 智佳	自然系教育連合講座	准教授	
川村 知行	芸術系教育連合講座	教授	
後藤 丹	芸術系教育連合講座	教授	
高石 次郎	芸術系教育連合講座	教授	
西村 俊夫	芸術系教育連合講座	教授	
平野 俊介	芸術系教育連合講座	教授	
松本 健義	芸術系教育連合講座	教授	
時得 紀子	芸術系教育連合講座	准教授	
市川 真澄	生活・健康系教育連合講座	教授	
伊藤 政展	生活・健康系教育連合講座	教授	
立屋敷かおる	生活・健康系教育連合講座	教授	
得丸 定子	生活・健康系教育連合講座	教授	
光永伸一郎	生活・健康系教育連合講座	教授	
山崎 貞登	生活・健康系教育連合講座	教授	
黎 子椰	生活・健康系教育連合講座	教授	
清水 富弘	生活・健康系教育連合講座	准教授	

以上73名

一般通報事項

○役員会

■第62回役員会

期 日 平成23年 3 月10日（木）

議 題

- 1 平成23年度年度計画
- 2 平成23年度学内予算
- 3 監査室の設置
- 4 会計規則等の一部改正等
- 5 就業規則等の一部改正
- 6 事務組織規則の一部改正
- 7 文書管理規則の制定

■第63回役員会

期 日 平成23年 4 月 1 日（金）

議 題

- 1 学長の職務を代理する者の指名
- 2 役員会等の議長の職務を代理する者の指名
- 3 会計監査人候補者の選定

○経営協議会

○第30回経営協議会

期 日 平成23年 3 月10日（木）

議 題

- 1 平成23年度年度計画（経営に関する部分）
- 2 平成23年度学内予算
- 3 監査室の設置
- 4 会計規則等の一部改正等
- 5 就業規則等の一部改正
- 6 事務組織規則の一部改正
- 7 平成22年度本学評価基準に関する自己点検・評価結果（経営に関する部分）
- 8 平成23年度における学内自己点検・評価実施計画

○教育研究評議会

■第107回教育研究評議会

期 日 平成23年3月9日（水）

議 題

- 1 平成23年度年度計画(経営に関する部分を除く)
- 2 平成22年度本学評価基準に関する自己点検・評価結果(経営に関する部分を除く)
- 3 平成23年度における学内自己点検・評価実施計画
- 4 国立大学法人上越教育大学教員サバティカル制度規程の一部改正
- 5 監査室の設置
- 6 教員人事
- 7 教育研究評議会及び教授会に置かれる委員会委員の委嘱
- 8 専修研究員の選考
- 9 学校ボランティア支援室の設置
- 10 学部アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）の一部変更
- 11 学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)の策定
- 12 受託研究の受入れ
- 13 平成23年度施設利用計画
- 14 文書管理規則の制定

■第108回教育研究評議会

期 日 平成23年3月21日（月）

議 題

- 1 教員人事
- 2 学部アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）の一部変更

■第109回教育研究評議会

期 日 平成23年4月1日（金）

議 題

- 1 学長選考会議委員及び同予備委員の選出

■第110回教育研究評議会

期 日 平成23年4月13日（水）

議 題

- 1 教員選考委員会委員の変更

○教授会

■第121回教授会

期 日 平成23年3月7日（月）

議 題

- 1 平成23年度学部一般入試（前期日程）合格者の判定
- 2 学生の表彰
- 3 学生の懲戒
- 4 学籍異動
- 5 平成22年度学部卒業判定
- 6 平成22年度大学院修了判定

■第122回教授会

期 日 平成23年3月16日（水）

議 題

- 1 平成23年度大学院入試（後期募集）合格者の判定
- 2 平成23年度教育職員免許取得プログラム受講者の判定
- 3 学籍異動
- 4 平成23年度長期履修学生の判定

■第123回教授会

期 日 平成23年3月21日（月）

議 題

- 1 平成23年度学部一般入試（後期日程）合格者の判定
- 2 平成23年度学部一般入試（後期日程）追加合格者の決定
- 3 平成23年度欠員補充第2次学生募集に係る合格者の判定

■第124回教授会

期 日 平成23年4月27日（水）

議 題

- 1 教員人事
- 2 名誉教授の推薦
- 3 教員の休職

○学位記

・博士（教育学）

（平23.3.3 広島大学）

准教授 伊達 文治

○平成22年度研究プロジェクト成果発表会

平成23年3月1日（火）に「平成22年度上越教育大学研究プロジェクト成果発表会」を学校教育実践研究センターを会場にして実施した。

この研究成果発表会は、教育現場における諸課題を実践的立場から研究し、教育実践学の構築を図ることをテーマとして取り組んできた上越教育大学研究プロジェクトの成果を、広く学校現場等へ還元することを目的として開催され、多数の現職教員等が参加した。



開会の挨拶：下西副学長

○2010年度上越教育大学国際交流のつどい

日頃から本学留学生にご支援いただいている地域の方々と本学教職員等が意見交換を行い、本学の国際交流推進に役立てるとともに相互の親睦を深めることを目的として、平成23年3月2日（火）第1食堂において、上越教育大学国際交流のつどいを実施した。



上越市、上越市教育委員会、上越国際交流協会、近郊のロータリークラブなどの方々からご出席いただき、本学の国際交流の現状及び留学生の現状と支援について説明した後、留学生による体験発表とアトラクション、自由交流を行い、地域の方々との親睦を深めた。

○ファカルティ・ディベロップメント講演会

本学の授業及び研究指導の内容及び方法の改善を図るため、ファカルティ・ディベロップメント講演会を3月11日（金）に実施した。

今回は、山形大学地域教育文化学部教授で、高等教育研究企画センター・企画マネジメント部門長の小田隆治先生に「公開し共有するFD」という演題で講演をしていただいた。

学長をはじめ教職員66名が参加し、山形大学における実践事例としてDVD「あっとおどろく大学授業NG集」などの具体的な指導例も示され、講演後には質疑応答も活発に行われた。



○東日本大震災避難児童生徒の学習支援等

災害支援室では、NPO上越地域学校教育支援センターと連携して、3月11日（金）に発生した東日本大震災により上越市及び糸魚川市に避難した児童・生徒を対象に、震災で不足した学習時数を補い新年度に向けた準備をするとともに、避難生活において家族密着状態が続くことによる閉塞感を改善することを目的として、3月27日～4月5日までの10日間、本学を会場に学生ボランティアによる学習支援等を行った。

受入れた児童生徒は延べ179人、参加した学生ボランティアは延べ125人であった。



○退職者永年勤続表彰状授与式

平成23年3月31日付け本学退職者のうち勤続期間が30年以上であって、当該勤続期間のうち本法人在職期間が15年以上である者に対して、3月22日（火）大会議室において退職者永年勤続表彰状授与式を実施し、次の被表彰者に表彰状を授与するとともに、記念品を贈呈した。

溝上 武實 教授（自然・生活教育学系）

増井 三夫 教授（学校教育学系）

○公開講座・免許法認定公開講座

平成23年度に実施する公開講座等は次のとおりである。

(※を付した講座については、公開講座に併せて、免許法認定公開講座として実施するものである。)

講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
木琴をつくろう	木材には軽くて強い性質のほか、音をよく伝える性質があります。そのため、木材を利用したさまざまな楽器がつくられています。 この講座では、木材の性質を学び、のこぎりで音板の長さを調節し、絵の具で音板をデザインし、世界に1つだけの木琴をつくりま	東原 貴志 准教授	4月23日(土) 4月24日(日) 計2回	9:00～11:00 計4時間	上越教育大学 (山屋敷キャンパス) 第2講義棟 地階共用講義演習室	小学生 (3～6年生) 20人
日本近代文学の名作を読む～短編小説を楽しむ⑥～	日本の短編小説を毎回1作品ずつ取り上げ、じっくり読み解く作業を通じて、その作品の面白さやテーマ、構造等について考えます。小説の読み方、楽しみ方について学ぶ講座です。 <講読予定作品> ①芥川龍之介「羅生門」 ②森鷗外「最後の一句」 ③宮沢賢治「貝の火」 ④志賀直哉「真鶴」 ⑤中島敦「南島譚」 ⑥太宰治「竹青」	小埜 裕二 教授	5月11日(水) 6月1日(水) 7月6日(水) 8月3日(水) 9月7日(水) 10月5日(水) 計6回	19:00～20:30 計9時間	上越教育大学 (山屋敷キャンパス)	市民一般 (初級・中級) 10人 最小実施 人数5人
はじめての短歌～実作短歌入門～	短歌は、万葉集以来、日本人に最も親しまれてきた詩形ですが、いざ作るとなると「難しそう」と感じる人も多いと思います。 でも、そんなことはありません。 講座では、初回到歌作りの基本的な考え方をお話した後、2回目からは各自が作品を持ち寄り、相互に批評しあうことによって、歌作りの勘どころを学んでいきます。 短歌を通じ自己表現の手法を学べば、他の文学作品を鑑賞する上でもきっと新しい視界が開かれるでしょう。	松田 慎也 教授	5月13日(金) 5月20日(金) 5月27日(金) 6月3日(金) 6月10日(金) 6月17日(金) 6月24日(金) 7月1日(金) 7月8日(金) 7月15日(金) 計10回	19:00～20:30 計15時間	上越教育大学 (山屋敷キャンパス)	市民一般 (入門) 10人 最小実施 人数2人

講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
日本画制作	日本画の基礎的な技術を学び、スケッチを中心とした制作を行います。 基底材の麻紙を加工して、色々な表現で楽しんでみます。	洞谷 亜里佐 准教授	5月14日(土) 6月11日(土) 7月16日(土) 9月17日(土) 10月15日(土) 計5回	9:30~12:30 計15時間	上越教育大学 (山屋敷キャンパス) 美術棟3階 日本画室	中学生 高校生 市民一般 (初級) 現職教員 15人 最小実施 人数3人
チームで作成する”特別な教育的ニーズのある子”の指導・支援計画 ※	障害のある子の教育的ニーズに対応する「特別支援教育」の理念やカリキュラムについて概説し、ニーズのある子の実態把握、目標設定の方法、個別の指導計画作成の手続き等について細述します。 その上で、受講生ご自身に、学校等で担当されてるお子さんを対象とした簡便な個別の指導計画を実際にチームで作成していただき、その授業(活動)への生かし方と評価の方法について考究します。 障害のある子のライフステージを見すえ、個別の教育支援計画を通じた機関連携のあり方にもふれます。	笠原 芳隆 准教授 藤井 和子 准教授	5月28日(土) 6月11日(土) 6月18日(土) 計3回	10:00~16:00 (昼食休憩1時間) 計15時間	上越教育大学 (山屋敷キャンパス) 特別支援教育実践研究センター 2階研修室	現職教員 保育士 療育担当者 ほか関心のある方 20人 最小実施 人数3人
体操教室 I	小学生を対象として、マット、とび箱、鉄棒、平均台、トランポリンなどの器械運動を中心に行う体操教室です。	周東 和好 准教授	5月29日(日) 6月5日(日) 6月12日(日) 6月19日(日) 6月26日(日) 7月3日(日) 計6回	14:00~16:00 計12時間	上越教育大学 (山屋敷キャンパス) 小体育館 2階トレーニング室	小学生 20人

講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
はじめての陶芸	受講対象者は、はじめて陶芸をされる方とします。 ひも作りと板作り技法でマグカップを成形し、釉薬を掛けて焼成します。	高石 次郎 教授	6月19日(日) 7月3日(日) 7月10日(日) 計3回	6月19日(日) 10:00~15:00 (昼食休憩1時間) 7月3日(日) 13:00~15:00 7月10日(日) 10:00~11:00 計7時間	上越教育大学 (山屋敷キャンパス) 美術棟 1階陶芸室	市民一般 (入門) 15人 最小実施 人数10人
少年少女スポーツ教室Ⅰ (山屋敷サッカークラブ低学年)	小学校3年生以下の子どものためのサッカー教室です。 サッカーのテクニックの練習や参加者同士による試合を行います。 また、バスケットボール、バドミントン、野球、ホッケーなど様々な形式のスポーツも行います。 これらの体験を通して、スポーツの基礎となる「動きづくり」をあわせて行います。	榑原 潔 准教授	7月23日(土) 7月25日(月) 7月27日(水) 7月29日(金) 8月1日(月) 8月3日(水) 8月6日(土) 計7回	9:00~11:00 計14時間	上越教育大学 (山屋敷キャンパス) 体育館	小学生 (1~3年生) 20人 最小実施 人数6人
ピアノ入門	自分のレベルに合った楽曲に取り組みピアノに親しむ中で、演奏表現の様々な技法を体得して、表現力を高めてもらいます。	平野 俊介 教授	8月3日(水) 8月10日(水) 8月24日(水) 8月31日(水) 9月7日(水) 9月14日(水) 9月21日(水) 計7回	17:15~19:15 計14時間	上越教育大学 (山屋敷キャンパス) 音楽棟1階 102教室 音楽棟2階 平野研究室	市民一般 (入門) 5人 最小実施 人数1人

講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
応用行動分析で授業が変わる、学校が変わる ※	<p>近年、特別支援教育を中心に、応用行動分析に基づく教育実践の成果が注目を集めています。</p> <p>本講座では、応用行動分析の理論に基づく授業改善、学級づくり、学校コンサルテーションについて、講義及び演習を行います。</p> <p>知的障害・自閉症・発達障害児を対象とした臨床・学校場面での実践について、映像データを活用しながら話題提供します。</p> <p>また、実際の小中学校、特別支援学校での実践報告も多く取り入れます。</p>	<p>加藤 哲文 教授</p> <p>村中 智彦 講師</p>	<p>8月10日(水) 8月11日(木) 8月12日(金)</p> <p>計3回</p>	<p>10:00~16:00 (昼食休憩1時間)</p> <p>計15時間</p>	<p>上越教育大学東京サテライトオフィス</p>	<p>現職教員 20人</p> <p>最小実施 人数5人</p>
「小学校外国語活動」の進め方入門	<p>『だれでもできる』『ためになる』『楽しい』小学校外国語活動の授業づくりをねらいとします。</p> <p>その内容は、理論編と実践編を組み合わせた内容です。</p> <p>具体的に、学習指導要領に基づく外国語活動のねらいや意義、カリキュラムデザイン、授業の枠組みの作り方、ゲームの活動、歌の活動、教材・教具、授業展開事例、評価の考え方と方法、教室英語などを提供します。</p>	<p>石濱 博之 教授</p>	<p>8月11日(木) 8月12日(金)</p> <p>計2回</p>	<p>10:00~16:00 (昼食休憩1時間)</p> <p>計10時間</p>	<p>上越教育大学 (山屋敷キャンパス)</p>	<p>市民一般 (初級) 現職教員 10人</p> <p>最小実施 人数1人</p>

講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
子どもの発達に 応じた道徳教育を 考える ～小中高12年 間を通して～	<p>子どもの発達に応じた道徳教育をどのように行うのか。</p> <p>小中高で教職経験のある3名の大学スタッフが、子どもたちの12年間の道徳性発達の発達を踏まえて、各学校段階での道徳教育の在り方について講義と演習を行います。道徳性発達の概略、読み物資料を用いた正統派の授業、役割演技、モラルスキルトレーニング、モラルジレンマなどを取り上げます。</p> <p>1日目の講座終了後に、ざっくばらんに意見交換のできる懇親の場を設定する予定です。</p>	<p>林 泰成 教授</p> <p>白木 みどり 准教授</p> <p>早川 裕隆 准教授</p>	<p>8月17日(水)</p> <p>8月18日(木)</p> <p>計2回</p>	<p>8月17日(水) 12:30～17:30</p> <p>8月18日(木) 9:00～17:00 (昼食休憩1時間)</p> <p>計12時間</p>	<p>上越教育大学 (山屋敷キャンパス)</p> <p>臨床研究棟 2階臨床研究演習室4</p>	<p>現職教員 20人</p> <p>最小実施 人数3人</p>
ボードゲーム で学ぶ社会 ～協力・競争・ 交渉・経済・ コミュニケーション～	<p>日本でゲームといえば、まずテレビゲームが想起されますが、ヨーロッパ(特にドイツ)では、ボードゲーム、カードゲームが発達しており、家族や友人などとテーブルを囲んで直接コミュニケーションをとりながらゲームを楽しむ文化があります。</p> <p>ゲームの人数や難易度には様々なものがありますが、本講座では、教材として比較的ルールが容易なものを取り上げ、ゲームを通じて楽しみながら、協力・競争・交渉・経済・コミュニケーションなどの「社会」を学びます。</p>	<p>小島 伸之 准教授</p>	<p>7月27日(水)</p> <p>8月3日(水)</p> <p>8月10日(水)</p> <p>8月24日(水)</p> <p>8月31日(水)</p> <p>計5回</p>	<p>18:00～19:30</p> <p>計7.5時間</p>	<p>上越教育大学 (山屋敷キャンパス)</p>	<p>小学生 (5・6年生)</p> <p>中学生 高校生 市民一般 (入門)</p> <p>現職教員 16人</p> <p>最小実施 人数4人</p>

講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
英語指導と協同学習	<p>英語指導の場では、ペアワークやグループワークが頻繁に用いられます。これはコミュニケーション能力の育成を目指した指導を行う場合、学習者にインタラクションの機会を多く与えるためです。</p> <p>本講座では、ペアワークやグループワークによるコミュニケーション活動を活発にし、学習者同士がよりよい人間関係の中で協同的に活動を行い、自分の学習と互いの学習を最大に高めようとする協同学習について学び、実際に教材を作成します。</p>	大場 浩正 准教授	9月7日(水) 9月14日(水) 9月21日(水) 9月28日(水) 10月5日(水) 10月12日(水) 計6回	18:30~20:30 計12時間	上越教育大学 (山屋敷キャンパス)	現職教員 20人 最小実施 人数12人
美術の楽しさ再発見, いろいろな素材で版表現!!	<p>当講座では、紙版画、石膏キャスト、ドライポイント、デジタルプリント、魚拓、木の版など、様々な素材と方法を使って版表現を楽しみます。</p> <p>「美術って難しい」「絵は苦手」と思っている方も、楽しめる内容となっています。</p> <p>講師は5名の教員が担当しますので、上越教育大学の芸術系(美術)コースの様子を見てみたいという中学生・高校生や、現職の先生のご参加をお待ちしております。</p>	五十嵐 史帆 准教授 洞谷 亜里佐 准教授 松尾 大介 准教授 安部 泰 講師 伊藤 将和 講師	10月1日(土) 10月2日(日) 計2回	10:00~16:00 (昼食休憩1時間) 計10時間	上越教育大学 (山屋敷キャンパス) 美術棟2階 版画室	中学生 高校生 現職教員 15人 最小実施 人数3人
遺伝子DNAを探る	<p>「DNA」という言葉を耳にすることが多くなっていますか? われわれ人間を含め生物の形や性質を決めている遺伝子DNAについて、形や動き、親から子へ伝わる仕組み、現代社会における利用(DNA鑑定、PCR検査等)を簡単な実験や、身近な事例紹介によって易しく解説します。</p>	五百川 裕 准教授	10月11日(火) 10月17日(月) 10月25日(火) 11月1日(火) 11月8日(火) 11月15日(火) 計6回	18:00~20:00 計12時間	上越教育大学 (山屋敷キャンパス) 自然棟4階 植物分類系統実験室	高校生 市民一般 (初級) 現職教員 5人 最小実施 人数3人

講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
体操教室Ⅱ	小学生を対象として、マット、とび箱、鉄棒、平均台、トランポリンなどの器械運動を中心に行う体操教室です。	周東 和好 准教授	10月16日(日) 11月3日(木) 11月6日(日) 11月20日(日) 11月23日(水) 11月27日(日) 計6回	14:00～16:00 計12時間	上越教育大学 (山屋敷キャンパス) 小体育館 2階トレーニング室	小学生 20人
「学校」を知って楽しく仕事をしよう～教師のためのワークモチベーションアップ講座～	教育改革が続く中、日々変化し続ける学校現場では、多忙化や協働の不足など教師のやる気をそぐような状況が少なからず生じています。 そこで、「学校の今」を見る目をもちながら、楽しく健康的に職務に取り組める環境作りが重要な課題となっています。 本講座では、若手から中堅層の教師が楽しく職務に従事できるようにするために、「学校の今」を読み解きながら、モチベーションアップの秘訣を5つの観点から考えます。	安藤 知子 准教授	11月12日(土) 11月19日(土) 計2回	10:00～16:00 (昼食休憩1時間) 計10時間	上越教育大学 (山屋敷キャンパス)	現職教員 20人 最小実施 人数2人
理科野外観察指導実習A 食物連鎖 ※	実習の場を林と池とし、食物連鎖の観点から林と池に生息する多種多様な生物とその相互関係を観察しながら、食物連鎖の野外観察のあり方、素材の提供、運営方法、指導方法、安全対策を現地で実際に学ぶことを目的とした講座です。	中村 雅彦 教授	6月11日(土) 6月12日(日) 計2回	9:00～17:00 (昼食休憩1時間) 計15時間	上越教育大学 (山屋敷キャンパス)	市民一般 (初級・中級) 現職教員 10人

講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
理科野外観察 指導実習B 森の楽校 ※	実習の場を森とし、森に生息する多種多様な生物の野外観察を通して、その生息環境や生物同士の関係を考え、森における野外観察のあり方、素材の提供、運営方法、指導方法、安全対策を現地で実際に学ぶことを目的とした講座です。	中村 雅彦 教授	9月7日(水) 9月8日(木) 計2回	9:00~17:00 (昼食休憩1時間) 計15時間	志賀高原	市民一般 (初級・中級) 現職教員 10人
理科野外観察 指導実習C 川の楽校 ※	実習の場を川とし、川に生息する多種多様な生物の野外観察を通して、その生息環境や生物同士の関係を考え、川における野外観察のあり方、素材の提供、運営方法、指導方法、安全対策を現地で実際に学ぶことを目的とした講座です。	中村 雅彦 教授	8月19日(金) 8月20日(土) 計2回	9:00~17:00 (昼食休憩1時間) 計15時間	正善寺川	市民一般 (初級・中級) 現職教員 10人
理科野外観察 指導実習D ミクロの世界 ※	池や沼などでみられる浮遊生物(プランクトン)について、そのサンプリング方法や観察法について実習を通して学びます。 また、走査電子顕微鏡、蛍光顕微鏡等を実際に操作しながらプランクトンの生きた姿と微細形態の観察・撮影を行う。	小川 茂 准教授	8月30日(火) 8月31日(水) 計2回	9:00~17:00 (昼食休憩1時間) 計15時間	上越教育大学 (山屋敷キャンパス)	市民一般 (初級・中級) 現職教員 10人
理科野外観察 指導実習E 身近な植物 ※	身近に生育する植物の分類、形態、生態についての観察指導のポイントを、校庭や路傍、畑地や空き地、雑木林や杉林を観察場所とした実習を通して学びます。 名前を知らなくとも植物の野外観察はできることを体験し、野外観察指導実践を阻むバリアーの低減をめざします。	谷 友和 講師	8月22日(月) 8月23日(火) 計2回	9:00~17:00 (昼食休憩1時間) 計15時間	上越教育大学 (山屋敷キャンパス)	市民一般 (初級・中級) 現職教員 10人

講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
理科野外観察 指導実習F 化石を読む ※	初等中等教育では野外での地層観察や化石採集が求められています。 本実習では地層観察方法や化石採集方法を実習し、採集された化石などから地質時代や古環境を検討します。	天野 和孝 教授	8月8日(月) 8月9日(火) 計2回	9:00~17:00 (昼食休憩1時間) 計15時間	上越市平山 ~中ノ俣 上越市谷浜 ~大淵	市民一般 (初級・中級) 現職教員 10人
理科野外観察 指導実習G 火山とマグマ ※	大地の変動の観点から変成作用による地殻変動や火成活動の野外観察をおこないます。 いろいろな岩石を観察することにより野外観察を指導するための基礎を習得し、また火山災害についての安全対策を現地で実際に学びます。	大場 孝信 准教授	8月24日(水) 8月25日(木) 計2回	9:00~17:00 (昼食休憩1時間) 計15時間	妙高市 糸魚川市	市民一般 (初級・中級) 現職教員 10人
理科野外観察 指導実習I 星の一日 ※	1泊2日の日程で暖候季の星の観測実習を行います。 小学校4年理科および中学校理科第2分野の天文単元に出てくる、太陽、月、星座の日周運動および星の観測の指導に適した季節、場所、方法等について、実際に観測しながら学びます。	濤崎 智佳 准教授	10月10日(月・祝) 10月11日(火) 計2回	9:00~17:00 (昼食休憩1時間) 計15時間	星のふるさと館 (清里区)	市民一般 (初級・中級) 現職教員 10人
理科野外観察 指導実習J 自然の見方 ※	身近な自然に見られる野草等の植物の生活史を、植物相互の関わり、昆虫との関わり、光・温度・水・土等の物理・化学的環境要因との関わり等の視点で総合的に理解するための観察能力を、講義と実習を通して修得します。 さらに、比較や分類等を通してプロセス・スキルズについても実習を通して学びます。	中村 雅彦 教授 谷 友和 講師	5月14日(土) 5月15日(日) 計2回	9:00~17:00 (昼食休憩1時間) 計15時間	上越教育大学 (山屋敷キャンパス)	市民一般 (初級・中級) 現職教員 10人

○海外渡航

	職名	氏名	渡航目的国	用務	期間	備考
1	教授	細江 容子	オーストラリア	海外教育(特別)研究Aの引率のため	平成23年3月5日～ 平成23年3月18日	外国出張
2	准教授	大場 孝信	オーストラリア	海外教育(特別)研究Aの引率のため	平成23年3月5日～ 平成23年3月18日	外国出張
3	特任講師	ブライアン・アイヴァン・バーナード	オーストラリア	海外教育(特別)研究Aの引率のため	平成23年3月5日～ 平成23年3月17日	外国出張
4	准教授	久保田 善彦	アメリカ	Society for Information Technology & Teacher Education への参加(情報収集および発表)	平成23年3月7日～ 平成23年3月13日	外国出張
5	准教授	原 瑞穂	オーストラリア	大学院授業科目「海外フィールド・スタディ」の実習見学, 学生指導及び授業実施に関する打合せ	平成23年3月8日～ 平成23年3月18日	外国出張
6	教授	釜田 聡	韓国	科学研究「日韓の協働研究」の研究打合せと現地調査のため	平成23年3月9日～ 平成23年3月12日	外国出張
7	特任准教授	伊佐 貢一	韓国	PISA型学力と学級集団の育成, 小中高校一貫教育についての調査	平成23年3月9日～ 平成23年3月12日	外国出張
8	特任准教授	佐藤 佐敏	韓国	研究プロジェクト「PISA型読解力を向上させる授業プログラムの開発」の調査	平成23年3月9日～ 平成23年3月12日	外国出張
9	教授	平野 絹枝	イギリス	「学校の第2言語としての英語教育」学会(スペシャリスト年次大会)出席及び英語教育音声認識に関する資料収集	平成23年3月17日～ 平成23年3月27日	外国出張
10	教諭	江谷 和樹	インドネシア	バリ・ガムランにおける音楽と舞踊との即応的連携に着眼したアジア伝統音楽の教材開発の資料収集	平成23年3月18日～ 平成23年3月24日	外国出張
11	教授	五十嵐 透子	アメリカ	・不安障害関連のセラピーに関する情報収集、研究者交流 ・アメリカ・カウンセリング・アソシエーション学会出席・アイオワ大学と小学校訪問	平成23年3月19日～ 平成23年4月4日	外国出張
12	教授	細江 容子	台湾	大学生の持つ高齢者イメージとジェントル教育の打合せと資料収集等	平成23年3月21日～ 平成23年3月24日	外国出張
13	教授	釜田 聡	アメリカ	Collaborative Development of ESD Curriculums and Teaching Materials by the U.S. and Japan towards mutual understandingの研究推進のための現地調査と資料収集のため	平成23年3月22日～ 平成23年3月30日	外国出張
14	教授	石野 正彦	アメリカ	Collaborative Development of ESD Curriculums and Teaching Materials by the U.S. and Japan towards mutual understandingの研究推進のための現地調査と資料収集のため	平成23年3月22日～ 平成23年3月30日	外国出張

	職名	氏名	渡航目的国	用務	期間	備考
15	特任准教授	津野 治彦	アメリカ	Collaborative Development of ESD Curriculums and Teaching Materials by the U.S. and Japan towards mutual understandingの研究推進のための現地調査と資料収集のため	平成23年3月22日～平成23年3月30日	外国出張
16	特任准教授	渡辺 径子	アメリカ	Collaborative Development of ESD Curriculums and Teaching Materials by the U.S. and Japan towards mutual understandingの研究推進のための現地調査と資料収集のため	平成23年3月22日～平成23年3月30日	外国出張
17	教諭	古川 勝哉	アメリカ	Collaborative Development of ESD Curriculums and Teaching Materials by the U.S. and Japan towards mutual understandingの研究推進のための現地調査と資料収集のため	平成23年3月22日～平成23年3月30日	外国出張
18	教諭	保坂 修	アメリカ	Collaborative Development of ESD Curriculums and Teaching Materials by the U.S. and Japan towards mutual understandingの研究推進のための現地調査と資料収集のため	平成23年3月22日～平成23年3月30日	外国出張
19	教諭	水谷 桂介	アメリカ	Collaborative Development of ESD Curriculums and Teaching Materials by the U.S. and Japan towards mutual understandingの研究推進のための現地調査と資料収集のため	平成23年3月22日～平成23年3月30日	外国出張
20	教授	川村 知行	中国	漢民族と少数民族との間における異文化理解の資料収集のため	平成23年3月23日～平成23年3月30日	外国出張
21	准教授	松尾 大介	台湾	新竹教育大学美術コースとの研究交流の打合せ。海外研究交流をとおした東洋文化を中心とした美術の教材開発	平成23年3月24日～平成23年3月28日	外国出張
22	准教授	洞谷 亜里佐	台湾	新竹教育大学、嘉義大學との国際交流の打合せ	平成23年3月24日～平成23年3月31日	外国出張
23	教授	北條 礼子	台湾	小学校英語教育授業参観ならびに学生による授業実施の引率	平成23年3月24日～平成23年3月31日	外国出張
24	副学長	佐藤 芳徳	台湾	台湾國立嘉義大學附設實驗國民小學との交流推進のための同校視察及び打合せのため	平成23年3月26日～平成23年3月30日	外国出張
25	特任准教授	清水 雅之	台湾	台湾國立嘉義大學附設實驗國民小學との交流及びICT教育に関する調査	平成23年3月26日～平成23年3月31日	外国出張
26	指導教諭	青木 弘明	台湾	台湾國立嘉義大學附設實驗國民小學との交流推進のための同校視察及び打合せのため	平成23年3月26日～平成23年3月30日	外国出張
27	教諭	大下 さやか	台湾	台湾國立嘉義大學附設實驗國民小學との交流推進のための同校視察及び打合せのため	平成23年3月26日～平成23年3月30日	外国出張
28	講師	森口 佑介	カナダ	モントリオールにて発達心理学において最も権威のあるSociety for Research in Child Developmentに参加、研究発表	平成23年3月29日～平成23年4月4日	外国出張
29	准教授	土田 了輔	アメリカ	全米健康体育レクリエーションズ連盟年次大会研究発表及び会議出席のため	平成23年3月30日～平成23年4月3日	外国出張
30	教授	細江 容子	ロシア	学会での報告とジェノトツ教育の資料収集等	平成23年4月9日～平成23年4月15日	外国出張

平成23年度上越教育大学学校教育学部入学試験の状況

()内は女子で内数

区分	推薦入試 (募集人員 50人)				一般入試 (募集人員 110人)				私費外国人留学生特別入試 (募集人員 若干名)				計 (募集人員 160人)			
	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者
北海道																
青森県																
岩手県	(1)	(1)	(1)	(1)									(1)	(1)	(1)	(1)
宮城県					(2)	1	1	1					(2)	1	1	1
秋田県	(2)	(2)	(1)	(1)									(2)	(2)	(1)	(1)
山形県	(2)	(2)	(1)	(1)	(8)	(6)	(3)	(3)					(10)	(8)	(4)	(4)
福島県	(2)	(2)	(2)	(2)	(5)	2	1	1					(7)	(2)	(2)	(2)
茨城県	(1)	(1)			1	1							(1)	(1)		
栃木県	(5)	(4)	(3)	(3)	(13)	(6)	(3)	(3)					(18)	(10)	(6)	(6)
群馬県	(9)	(9)	(2)	(2)	(23)	(11)	(4)	(4)					(32)	(20)	(6)	(6)
埼玉県					(6)	(5)	(3)	(3)					(6)	(5)	(3)	(3)
千葉県					(1)								(1)			
東京都	(1)	(1)	(1)	(1)	(3)	(2)	(1)	(1)					(4)	(3)	(2)	(2)
神奈川県					2	2	1	1					2	2	1	1
新潟県	(27)	(27)	(10)	(10)	(123)	(63)	(13)	(12)					(150)	(90)	(23)	(22)
富山県	(11)	(11)	(4)	(4)	(37)	(26)	(8)	(8)					(48)	(37)	(12)	(12)
石川県	(10)	(10)	(2)	(2)	(47)	(26)	(6)	(5)					(57)	(36)	(8)	(7)
福井県	(1)	(1)			(8)	(3)	(3)	(3)					(9)	(4)	(3)	(3)
山梨県	2	2			(4)	(3)	(1)	1					(4)	(3)	(1)	1
長野県	(7)	(7)	(4)	(4)	(46)	(23)	(7)	(7)					(53)	(30)	(11)	(11)
岐阜県	(2)	(1)	(1)	(1)	(6)	(4)	(1)	(1)					(8)	(5)	(2)	(2)
静岡県	(2)	(2)	(1)	(1)	(5)	(2)	(2)	(2)					(7)	(4)	(3)	(3)
愛知県	1	1	1	1	(2)	10	2	2					(2)	11	3	3
三重県	1	1	1	1	(3)	(2)	(2)	(2)					(3)	(2)	(2)	(2)
滋賀県																
京都府																
大阪府	(1)	(1)	(1)	(1)	(2)								(3)	(1)	(1)	(1)
兵庫県	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	3	2						(2)	(1)	(1)	(1)
奈良県																
和歌山県					(1)	(1)							(1)	(1)		
鳥取県					2								2			
島根県																
岡山県	(1)	(1)	(1)	(1)	(2)								(3)	(1)	(1)	(1)
広島県																
山口県																
徳島県	(1)	(1)	(1)	(1)									(1)	(1)	(1)	(1)
香川県																
愛媛県	1	1											1	1		
高知県																
福岡県																
佐賀県																
長崎県	1	1			1	1	1	1					2	2	1	1
熊本県																
大分県	(1)	(1)											(1)	(1)		
宮崎県																
鹿児島県																
沖縄県																
その他					(1)								(1)			
計	(88) 133	(86) 130	(37) 50	(37) 50	(349) 675	(183) 372	(57) 128	(54) 119					(437) 808	(269) 502	(94) 178	(91) 169
		応募者/合格者 2.7倍	男 26.0% 女 74.0%			応募者/合格者 5.3倍	男 54.6% 女 45.4%						応募者/合格者 4.5倍	男 46.2% 女 53.8%		

備考欄

※ その他は、高等学校卒業程度認定試験

○平成23年度 大学院学校教育研究科入学者選抜試験状況

■ 専攻・コース別

課程	専攻・コース	前期募集 (試験日:22.8.28)					中期募集 (試験日:22.11.27)					後期募集 (試験日:23.3.3)					合計				
		募集人員	応募者	受験者	合格者	入学者	募集人員	応募者	受験者	合格者	入学者	募集人員	応募者	受験者	合格者	入学者	入学定員	応募者	受験者	合格者	入学者
修士課程	学校教育専攻	96	(16) 110	(16) 110	(16) 94	(16) 67	32	(7) 75	(7) 72	(7) 55	(6) 43	20	(1) 24	(1) 20	(1) 14	11	120	(24) 209	(24) 202	(24) 163	(22) 121
	学校臨床研究コース	54	(9) 53	(9) 53	(9) 49	(9) 37	21	(4) 46	(4) 44	(4) 37	(4) 27	5	(1) 10	(1) 9	(1) 8	6	[70]	(14) 109	(14) 106	(14) 94	(13) 70
	臨床心理学コース	18	(3) 35	(3) 35	(3) 23	(3) 14	若干人	14	13	4	3	5	7	6	2	2	[18]	(3) 56	(3) 54	(3) 29	(3) 19
	幼児教育コース	5	2	2	2	2	5	6	6	6	6	5	2	1	1		[7]	10	9	9	8
	特別支援教育コース	19	(4) 20	(4) 20	(4) 20	(4) 14	6	(3) 9	(3) 9	(3) 8	(2) 7	5	5	4	3	3	[25]	(7) 34	(7) 33	(7) 31	(6) 24
	教科・領域教育専攻	104	(9) 88	(9) 86	(9) 82	(9) 69	49	(9) 69	(9) 66	(9) 60	(9) 51	23	22	21	17	15	130	(18) 179	(18) 173	(18) 159	(18) 135
	言語系コース	20	(3) 16	(3) 15	(3) 15	(3) 14	10	(2) 19	(2) 17	(2) 15	(2) 14	5	6	6	4	3	[25]	(5) 41	(5) 38	(5) 34	(5) 31
	社会系コース	18	22	22	19	16	5	5	5	2	2	7	4	3	3	3	[23]	31	30	24	21
	自然系コース	22	(2) 21	(2) 21	(2) 20	(2) 15	7	(4) 14	(4) 13	(4) 12	(4) 9	若干人	6	6	4	3	[27]	(6) 41	(6) 40	(6) 36	(6) 27
	芸術系コース	22	(2) 11	(2) 11	(2) 11	(2) 11	16	(1) 8	(1) 8	(1) 8	(1) 7	11	2	2	2	2	[27]	(3) 21	(3) 21	(3) 21	(3) 20
生活・健康系コース	22	(2) 18	(2) 17	(2) 17	(2) 13	11	(2) 23	(2) 23	(2) 23	(2) 19	若干人	4	4	4	4	[28]	(4) 45	(4) 44	(4) 44	(4) 36	
小計	200	(25) 198	(25) 196	(25) 176	(25) 136	81	(16) 144	(16) 138	(16) 115	(15) 94	43	(1) 46	(1) 41	(1) 31	26	250	(42) 388	(42) 375	(42) 322	(40) 256	
専門職学位課程	教育実践高度化専攻	40	(21) 27	(21) 26	(21) 25	(20) 22	25	(13) 28	(13) 26	(13) 26	(13) 24	20	7	6	6	5	50	(34) 62	(34) 58	(34) 57	(33) 51
	教育実践リーダーコース	24	(16) 22	(16) 21	(16) 20	(15) 17	10	(8) 23	(8) 21	(8) 21	(8) 19	10	7	6	6	5	[30]	(24) 52	(24) 48	(24) 47	(23) 41
	学校運営リーダーコース	16	(5) 5	(5) 5	(5) 5	(5) 5	15	(5) 5	(5) 5	(5) 5	(5) 5	10					[20]	(10) 10	(10) 10	(10) 10	(10) 10
	小計	40	(21) 27	(21) 26	(21) 25	(20) 22	25	(13) 28	(13) 26	(13) 26	(13) 24	20	7	6	6	5	50	(34) 62	(34) 58	(34) 57	(33) 51
合計	240	(46) 225	(46) 222	(46) 201	(45) 158	106	(29) 172	(29) 164	(29) 141	(28) 118	63	(1) 53	(1) 47	(1) 37	31	300	(76) 450	(76) 433	(76) 379	(73) 307	

※1 入学定員欄の〔〕内は、標準学生数を示す。

2 ()内は、現職教員で3年以上の教職経験者数を示し内数である。

3 応募者数は、専攻・コースごとに原則として第1志望の人数を計上しているが、第2志望での合格者は合格した専攻・コースへの応募者として計上している。

■ 都道府県別

区分	前期募集				中期募集				後期募集				合計			
	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者
北海道	2	2	2	1	(1) 6	(1) 6	(1) 6	(1) 6	3	3	3	2	(1) 11	(1) 11	(1) 11	(1) 9
青森県	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1	1	1							(1) 2	(1) 2	(1) 1	(1) 1
岩手県	(1) 3	(1) 3	(1) 2	(1) 2	2	1			1	1	1	1	(1) 6	(1) 5	(1) 3	(1) 3
宮城県	3	3	3	1	(1) 4	(1) 3	(1) 3	(1) 3	1	1			(1) 8	(1) 7	(1) 6	(1) 4
秋田県	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1									(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1
山形県	3	3	3	2	1	1	1	1					4	4	4	3
福島県	1	1	1						1	1	1		2	2	2	
茨城県	(1) 2	(1) 2	(1) 2		1	1			1				(1) 4	(1) 3	(1) 2	
栃木県	1	1	1	1	1	1			2	2	2	2	4	4	3	3
群馬県	1	1	1		(5) 6	(5) 6	(5) 6	(5) 5	1	1			(5) 8	(5) 8	(5) 7	(5) 5
埼玉県	13	13	11	8	11	10	9	9	(1) 5	(1) 4	(1) 3	3	(1) 29	(1) 27	(1) 23	20
千葉県	(1) 4	(1) 4	(1) 4	(1) 4	2	2	2	2	3	3	3	3	(1) 9	(1) 9	(1) 9	(1) 9
東京都	42	41	37	28	(1) 45	(1) 44	(1) 40	(1) 26	10	9	7	6	(1) 97	(1) 94	(1) 84	(1) 60
神奈川県	(1) 13	(1) 13	(1) 13	(1) 8	(1) 7	(1) 6	(1) 5	(1) 5	4	3			(2) 24	(2) 22	(2) 18	(2) 13
新潟県	(30) 47	(30) 46	(30) 45	(30) 43	(19) 41	(19) 41	(19) 39	(18) 37	6	6	5	5	(49) 94	(49) 93	(49) 89	(48) 85
富山県	(2) 6	(2) 6	(2) 5	(2) 5	5	5	4	4	1	1			(2) 12	(2) 12	(2) 9	(2) 9
石川県	23	23	19	13	4	4	4	3	1	1	1	1	28	28	24	17
福井県	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1									(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1
山梨県	3	3	2	2	3	2	2	1	1				7	5	4	3
長野県	(3) 16	(3) 16	(3) 14	(3) 11	6	5	4	4					(3) 22	(3) 21	(3) 18	(3) 15
岐阜県					4	4	2	1	1	1	1	1	5	5	3	2
静岡県	(1) 3	(1) 3	(1) 3	(1) 2	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1					(2) 4	(2) 4	(2) 4	(2) 3
愛知県	(2) 9	(2) 9	(2) 7	(2) 7	2	1	1		2	2	2	1	(2) 13	(2) 12	(2) 10	(2) 8
三重県																
滋賀県					1	1	1	1	1	1	1		2	2	2	1
京都府	2	2	1	1	3	3	3	3	1	1	1	1	6	6	5	5
大阪府	5	4	4	3	3	3	3	1	2	2	2	2	10	9	9	6
兵庫県	4	4	4	1									4	4	4	1
奈良県	3	3	3	3	1	1			1				5	4	3	3
和歌山県																
鳥取県																
島根県																
岡山県	2	2	1	1									2	2	1	1
広島県																
山口県																
徳島県																
香川県																
愛媛県									2	2	2	1	2	2	2	1
高知県																
福岡県					1	1	1	1					1	1	1	1
佐賀県	1	1	1										1	1	1	
長崎県	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1									(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1
熊本県																
大分県	1	1	1	1									1	1	1	1
宮崎県																
鹿児島県																
沖縄県	2	2	2	2	1	1	1	1					3	3	3	3
外国	6	6	5	4	9	9	3	3	2	2	2	2	17	17	10	9
計	(46) 225	(46) 222	(46) 201	(45) 158	(29) 172	(29) 164	(29) 141	(28) 118	(1) 53	(1) 47	(1) 37	31	(76) 450	(76) 433	(76) 379	(73) 307

注)1 ()内は、現職教員(3年以上の教職経験を有する者)を内数で示す。

主要日誌

■大学

月 日	事 項
3月1日 (火)	第20回評価支援室会議 2010年度短期外国人留学生修了証書授与式 2010年度上越教育大学国際交流のつどい 研究プロジェクト成果発表会
3月2日 (水)	第2回附属図書館運営委員会 第8回国際交流推進室会議 学術研究委員会リポジトリ専門部会 第13回教務委員会 第11回衛生委員会
3月3日 (木)	平成23年度大学院入試(後期募集)
3月4日 (金)	第15回入学試験委員会 第2回教育職員免許取得プログラム支援室会議 第7回地域連携推進室会議
3月5日 (土)	海外教育(特別)研究A(オーストラリア) (~3/17(木))
3月7日 (月)	第121回教授会 第4回就職委員会
3月9日 (水)	第107回教育研究評議会
3月10日 (木)	第62回役員会 第30回経営協議会
3月11日 (金)	課外活動リーダーズ・トレーニング研修 (~3/12(土)) 第14回教務委員会 ファカルティ・ディベロップメント講演会 危機管理室会議(東北地方太平洋沖地震)
3月12日 (土)	平成23年度学部一般入試(後期日程) 災害対策本部会議(長野県北部地震)
3月14日 (月)	第59回大学評価委員会 第7回教育実習委員会
3月15日 (火)	第16回入学試験委員会
3月16日 (水)	第122回教授会 第2回全学教職員集会
3月17日 (木)	平成23年度大学院入試(後期募集)合格者発表 平成23年度学部一般入試(後期日程)[追試験]
3月18日 (金)	卒業証書・学位記授与式 学生表彰式 学長と修了留学生との懇談会
3月21日 (月)	第123回教授会 第108回教育研究評議会 第17回入学試験委員会
3月22日 (火)	平成23年度学部一般入試(後期日程)合格者発表 第12回カリキュラム企画運営会議 退職者永年勤続表彰状授与式
3月24日 (木)	兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科学学位記授与式 災害支援室会議
3月25日 (金)	第3回CST養成事業実施委員会
3月27日 (日)	東日本大震災避難児童生徒の学習支援等 (~4/5(火))
4月1日 (金)	第63回役員会 第109回教育研究評議会
4月5日 (火)	第1回教員免許状更新講習実施委員会
4月6日 (水)	入学式 新入生オリエンテーション(~4/7(木)) 第1回衛生委員会
4月7日 (木)	新入生図書館利用ガイダンス(~4/15(金) ※土・日を除く) 第1回教育実習委員会
4月11日 (月)	新入生ノートパソコン準備講習会(~4/22(金) ※土・日を除く)
4月12日 (火)	第1回教育実習連絡会

4月13日 (水)	兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科入学式 第110回教育研究評議会 第36回大学改革委員会 情報セキュリティ講演会 留学生オリエンテーション 留学生の花見会
4月20日 (水)	第1回教育実習協力校(園)会議 海外学生派遣プログラム説明会 第1回入学試験委員会 文献の探し方ガイダンス(～4/28(金)※土・日を除く) 第1回教務委員会
4月22日 (金)	第21回評価支援室会議 第21回情報・広報委員会 第13回カリキュラム企画運営会議 新入生合宿研修(～4/23(土))
4月26日 (火)	第1回国際交流推進室会議 災害支援室会議
4月27日 (水)	第124回教授会 平成22年度海外研修プログラム報告会 第1回ボランティア体験連絡会

■附属幼稚園

月 日	事 項
3月2日 (水)	ひな祭り会
3月10日 (木)	平成23年度入園児選考検査 (欠員募集)
3月16日 (水)	第17回修了証書授与式
3月18日 (金)	第3学期終業式
3月28日 (月)	離任式
4月1日 (金)	開園記念日
4月5日 (火)	一日入園
4月7日 (木)	第20回入園式
4月8日 (金)	新任式 第1学期始業式

■附属小学校

月 日	事 項
3月16日 (水)	第3学期終業式
3月17日 (木)	第30回卒業式
3月19日 (土)	欠員入学選考
3月25日 (金)	離任式
4月1日 (金)	開校記念日
4月7日 (木)	新任式、第1学期始業式、第30回入学式
4月11日 (月)	5・6年PTA
4月12日 (火)	発育測定 3・4年PTA 1年生給食開始
4月13日 (水)	1年生歓迎会 2年PTA
4月14日 (木)	1・3・5年視力聴力検査
4月15日 (金)	1年PTA 2・4・6年視力検査
4月20日 (水)	ふれあい集会
4月21日 (木)	歯科検診
4月26日 (火)	1・2年内科検診
4月28日 (木)	避難訓練

■附属中学校

月 日	事 項
3月3日 (木)	学校評議員会
3月5日 (土)	第30回卒業証書授与式
3月24日 (木)	第3学期終業式
3月25日 (金)	離任式
4月1日 (金)	開校記念日
4月8日 (金)	新任式 第1学期始業式
	第31回入学式
4月18日 (月)	3学年修学旅行 (4/18~21)
4月25日 (月)	避難訓練



上越教育大学学報

第 116 号 平成 23 年 5 月 10 日発行

上越教育大学総務部総務課

〒943-8512 上越市山屋敷町 1 番地

電話 025-521-3214 / 3215